西上

大正二年一月十一日 第三種郵便物認可

第三五六號

大正八年十二月八日 毎月曜日發行

Vol. VII. No. 356. THE SHANGHAI, JAPANESE WEEKLY

發行所 春申社 上海眞如路〇八號 電話北二八五七 振替口座福岡四七〇五番

支那の文化運動

工其事を善くせんと欲せば、必ず先づ其器を利す、苟くも一國の文化を善くせんと欲せば、先づ其固有の道法を本とし、此器を利し、然る後運動に着手せざるべからず、蓋し本立つにあらざれば道生せず、斯かゝる文化運動は歸する所末を遂ふて徒勞に終るは、尙ほ寛假し得べけれども、其運動の爲め、遂に一の民族性を無にして他民族化し、所謂保種保國の大意義に背反するを以てなり、即ち支那最近の文化運動を以て云はんか、確かに其本を揣からずして其末を齊ふせんとするの弊に陷り居れりと斷せざるべかず、

最近の支那雜誌及新聞を閲するに吾人は支那の文化運動は、事實に於て工其事を善くせんと欲して、其器を利するにあらず、寧ろ其器を放棄し、代ゆるに別の器を以て事を善くせんとするに似たり、看よ現代の文化運動者は悉く過激派化し、世を攪亂するが主にして、支那數千年來の道法を根底より覆さんと運動しつゝあるにあらずや、彼等は所謂新思潮の意義を高調し、批判的態度を口にし、外來思潮を輸入すと稱すれども、彼等は僅かに其批判的態度の必要なるを知りて、其然る所以を考究せず、徒らに批判的態度の缺如せる材料を蒐集し、新思想用の文字を羅列し、讀者の目を眩惑するに過ぎずして、往昔の咬文嚼字の弊を新しく繰返しつゝありと評するも不可なし

凡そ一國には一國の民族あり、其固有の性を有せり、學問に境なしと云ふも、輸入されし學問に必ず民族性を帶ぶる其事實を否定すべからず、支那は大國にして其國固有の文字を有せる古國なり、而して其文語は支那の民族性を宿せるものにして而かも這は四百餘州に共通さるゝ文語也、然るに最近の文化運動者は折角統一されし文語を犧牲にし、以て言文一致と稱せる白話を提唱して止す、白話は或階級の蒙を啓き、又は小說其他特殊のものに對して提唱すべきや勿論なれども、之が爲め文語をも犧牲にせんとする文化運動者の愚や眞に及ぶからず、文語は簡にして要を得、之を紙上に上すに最も適合せり、「君子所欲、小人所惜」を「好人喜歡的就是壞人討壓的」と比して其簡繁幾何なるぞ、這は簡繁の問題として(一)由來文語が歷代精練されたるものにして、恰かも砂礫中より砂金を篩ひ取りしが如しとせるに今の文化運動者は砂金を再び砂礫中に混入すると異ならざるなり(二)又均しく白話と云ふも、廣き支那に於ては各處に各白話ありて、其不便少からず、漸く其不便を補ふべく、文語を以て統一し來りしものを、驟かに放棄するは、益文字思想の普及を混亂せしむるものなり、(三)尙ほ意義より云へば、文化運動者の白話提唱文語排斥は、文語の意義を意義らしくするは修養に在りて、文語の罪にあらざることに目を致さゞるなり、(四)更らに支那統治上より云へば、文化運動者が文語を排斥するは、軈て支那四百餘州を自ら分裂せしむるものなることに意を用ひざるなり

啻に之れのみならず、吾人は文語は青年學士の所謂批判的態度を養ふべく、其能力を得るに最も好く且つ外來思潮を能く感受せしむべき素地を作る力ありと確信するものなり、大學經學中より來る者は純、俗學歷史より來る者は雜なりとは、先達の士が後進の士に對する讀書の要諦と其れ我を如何せん此高き道法を有せる文語を排斥し、白話を提唱し、事實國を分裂の域に進めつゝある文化運動者は、自ら國を毀つものなり、汝が萬里の長城を毀つ乎

(白川生)

目錄

▲目次▼

□社論
□雜々錄
□論說
□週間要報
□上海報界史の過去及現在(完)
□國民政治研究會
□政治研究會
□趣味の上海
□雜報
□文苑
□命令
□漢字新聞論調
□公人私人

支那の文化運動
非安南問題
內政の濟來
蘭領印度組織
英國議會
外交案
支那問題
借款
近代思想
徐樹錚
歐州事件
歸國
歐州留學
支那勞働者の研究
其他

新內閣の組織說
海外電報
海外電報
海外電報

週間要報

靳内閣の將來如何

▲到底期待すべからず▼

内閣問題は參議院の通過あり、本月三日に至りて命令の發表を見、累月の久しきに亘りし問題も一段落を告げたり農商は依然田文烈之を兼任し教育は傅嶽棻を以て代理せしめ内務次長は農商部秘書何煜博任し其財政交通兩部は潘復姚國楨の手に落ちたり、然るに一波靜まりて一波起り、潘復等の財政次長任命は端なくも其總長なる李思浩の同意を圖らずして爲されたるものとして李は天津に下り辭職を申出で、靳と李との間に一悶着を生じたり、即ち之に關する連日報道は能く悶着と落着の模樣を盡せり曰く

財政次長の一席は李思浩は錢錦孫を推定せるに四日發表されしは潘復なり靳は事前に於て李と相談せざるを以て李は今後事務上掣肘さるゝ爲め辭職に決し三日夜出京し復た返らず四日朝靳は已に人を天津に派し挽き留め同時に潘を用ひたるは徐世昌の意に出でたるものなりと說明せり又曰く靳は人をして李思浩に告げしめて曰く潘復を任命せるは周自齊を助けて三千萬元の借款を成立せしむる爲めにして元首の命に係る請ふ諒されよと同時に天津に在る張孤に對し李に向つて勸駕を依頼せり頃某方面天津電を得たるに李は解釋を經て已に歸任の意ありと又曰く、李思浩辭職し段祺瑞は靳雲鵬に向つて調停し潘辟を暫らく着任せしめず錢錦孫をして次長を代理せしむることゝせるが靳は之を承諾し李思浩は五日就職したり

而して更らに本稿締切日即ち六日に達せる北京電報は比事に關し報じて曰く

李思浩は次長任命に同意を經ざる爲め辭職書を提出し閣議にも出席せず徐樹錚出でゝ調停せし爲め始めて撤回を許したり李の此擧は全く安福系の面目を立つる爲めなりしが、内務次長何煜、財政次長潘復は周樹模周自齊の推薦によるものにして田李の提出せるものにあらず又同意を經たるものにあらず、然れども李思浩辭職の事の爲めは段に調停の位置に立ち潘復をして暫時着任を延期せしめ錢錦孫を以て次長を代理し五日命令下り李は即ち財政部に歸りて事を視るに至たれり云々

此によりて見れば、次長問題によりて一波折を生せし内閣問題も曲かなりなりにも、成立したりと見るべからざるなれども、這は要するに非段派及び南方の最も怨府とせる安福系の脅迫によりて成れるものにして、安福系成功にして同時に靳雲鵬の總理たる價値は明かに損せり、否な靳の鼎の輕重は問はれ、更らに徐世昌の鼎の重は問はれたり、斯くして成れる内閣果して指臂相聯ぬるの效を奏し、政令一途に出づるを得べきや問はずして知るべきのみ、隨つて内閣問題を隣家の猫の產子視せる過激派思想派政客は世を攪亂するに日も亦足らず、此等政客に致されつゝある全國學生は結果に於て勇氣なき義和團と等しき禍患を彌蔓して止まず、而かも中央政府は此等學生義和團を絲毫も取締る能はずして放任し國交を害するも厭はず、内閣の將來なるものは、徐世昌及馮國璋並びに之と聯絡して破壞運動を是れ事として止まざる間即ち眞の段派勢力を以て内閣を組織する時期到達せざる間は、到底期待すべからざるなり、隨つて西南實力派との單獨媾和も未だ問題にならざるなり、況んや上海和議會の續開をや

●非安福政黨組織說

▲親米排日派の囈語耳▼

最近天津に於て一大勢力ある政黨組織計畫中なりと傳へらる名を民本俱樂部と稱し安福俱樂部に對抗する目的に在りて此政黨は討論會の人物を以て中堅とし前進步黨員及少數國民黨員と直隸系の人物を網羅し其最も勢力ある創立委員には陸榮廷ありヤ春煊あり、熊希齡あり、其出資者には馮國璋ありと傳へらるゝが、其政綱は外に對しては米國の共和黨と外交上の提携を爲し内に對しては南北を調停するに在りと報せらる、尙ほ此事に關し米派益世報は今回の内閣問題は安福系の全勝利なるが同系の各政團の奪起を惹起し彼等は目下大政團を視る全く無物の如く之が爲め團結して以て當らんとし某方面に在りては非正式の會見を爲せり、同團計畫の爲め網羅せる人物は甚だ廣く學者政客軍人議員何れもあるのみならず由來消滅の姿に在る政團も此聯合の名に在りて名を民本俱樂部と稱し三期を分ちて進行し、第一期に各系黨員を羅致し、第二期に成立會を開き、第三期南北和議促進を實行現に某二巨公は各五十萬元を義捐せるが正式成立會は明年一月一日なるべし、因みに民本俱樂部の名稱は「民爲邦本」及英語の所謂デモクラシーを取りたるものなりと云ふ

是れ未だ具體化せる政團にあらず俄かに取り上ぐるにあらざれども、非安福系の計畫にして同時に排日派のソレなることを證して餘ある一點は、尤も注意に値ひせりと云はざるべからず、然るに右政團計畫の報あるや當地の政學會派機關たる中華新報（六日社論）は大要左の如く論せり

北方非安福派の誠意は嘗つて南方當局の諒解する所なり、然れども非安福派には一大缺點あり、即ち中心なくして進取の精神に乏しきこと是なり、非安福派は目在野下者多く其政治の經歷地位派別は各不同あり種々の關係上何れも安福系と反對なれども、其間に一致主張なく、密接なる關係に乏しきを以て形勢一たび非なれば輒ち消極的に趨り明かに時局の最大障害あるを知ると雖も軍閥外力を後盾とせる安福系に對し一致して抵抗する能はず、遂に和議をして頓挫せしめ、安福系を跳梁せしめ今や已に數目に及べり、――外交の危險内政の腐敗、今日に至りて極まれるが、最近の安福系の橫暴を見て果して覺悟する所あるや、果して覺悟して其結合の速かなるを望むならば公然進行し秘密あるべからず、支那の今日は人事を管すべからざるなく、事公開すべからざるなし、若し北方各派が能く光明ある旗幟を標榜し堅定せる決心を具せば吾人は必ず北方は能く一種の勢力を得べく、南方當局は苟くも正義の計す所亦將に之と相呼應するに客ならず、南北問題は或は一新局面を開くを得べきか、目下懷疑せる所のものは此種消息の根據如何是なり

非安福系の大同團結は纔かに、安

那支時事日誌

十一月二十八日（金）

▼王占元は米國友華銀行より湖北水災工事費百萬元借款交涉中なりと

▼軍政府務會議は福州事件に就き北京政府に質問する旨を決せり

▼汪兆銘は益友社の招宴に臨み解散權と不信權必要の演說をなす

▼國參院は各省に福州事件は靜かに解決を待てと通電す

▼外交部は昨日日本公使に抗議を提出す

十一月二十九日（土）

▼南京學生示威運動す

▼北京學生千余人遊行し大總統に面會を求めて會はず、各學生休校

▼岑春煊陸榮廷と語りて歸る

▼香港商人は莫督軍に學生を懲すべしとの手紙を送りたり

▼北京閣議は露國公使の外蒙自治取消の抗議に對し置ひて問はざるに決せり

▼衆議院は米國上院に感謝電を發す

▼王古元は福州事件に就き本日告示を出して學生に不穩の行動を戒む

▼靳は段祺瑞を訪ひ更らに大總統を訪ふて敎、農兩總長否決後の方法を語れり、徐樹錚亦段を訪ふ

十一月三十日（日）

▼薩鎭冰入京

▼交通部は英人と淸平、川漢幹線の兩鐵道借款を訂結せりとの報

▼木日北京に於ける福建人は（一）日本軍艦馬港引上（二）福州日本領事交迭（三）關係日本警官及犯人の處罰（四）李督軍に謝罪（五）負傷者に慰藉料死者に賠償金等を決議せり

▼西藏辦事長官の代表入京

▼交通部は鐵道車輛借款を二十七日の國務會議にて可決せり

▼政學會は時局方針五個條を決定す

十二月一日（月）

▼湖北人は福州事件に關し事實調査を主張す

▼陳外交次長は訪ひ學生の示威運動に關し種々協議せるが同次長は福建出身の故を以つて種々攻擊を受くるが不快とし辭意を洩らせり

▼ノース、チヤイナ、スタンダード（鷲澤氏主幹の英字新聞）本日第一號を出版す

日清汽船株式會社

上海出帆

鳳陽丸　南陽丸　郵船棧橋ヨリ發
襄陽丸　岳陽丸　瑞陽丸　大福丸　大貞丸　大利丸　浦東棧橋ヨリ發

電話　輸出宿直　四七六
輸入庶務　一三四五
船客　三二五九

上海支店

上海廣東路十四號及十六號
電話（浦東棧橋　四七四
監督　一八四七）

漢口宜昌線　一ケ月六回
漢口湘潭線　一週二回
漢口常德線　一週二回
九江南昌線　一週三回

日本郵船株式會社

本社日本東京

所有汽船百餘隻　總噸數五十萬噸

上海

歐洲行　二週一回以
米國行　二週一回
香港行　一週一回
日本行　一週三回上

其他日本各港濠洲印度朝鮮支那等諸航路有り

日本郵船會社
上海支店長
伊吹山德司

北汽船會社代理
北蹟道孔

福系の勢力大なるを天下に表示すると異なるにはあらざるなきか、即ち非安福派の如何に散砂の如く纏まり難き所以を証するにはあらざるなきか、東亞に優越せる天與の勢力に對し忌視して止まざる米國の浪人に煽動さるゝ排日派たる所謂非安福派の大同團結の成立談何んぞ容易ならんや、支那の和平統一は政團を欲せず政團を犧牲にし、誠を開き公に布き良心を激發するに左り、誰れか大同團結の必要を云ふものあらんや

●外蒙古問題と徐樹錚の動靜

外蒙古自治取消し成るや、安徽、湖北、江西、湖南、陝西、張家口の各省區長官等は均しく庫倫活佛に賀電を致し自治を取消し國を愛するの熱誠を稱讃し蒙境の幸福を祝したる由なるが一面又露國公使は露蒙條約取消に關し抗議を提出せるが外交部は十分の理由を以て露國公使に回答を與へ滿足せしむべし云ふ外交部側の消息に依れば所謂十分の理由とは即ち外蒙は本と中國の五大族に屬し且つ中國の主權に關せり此次外蒙が自治を取消露蒙條約を撤廢せるは外蒙が露國の内亂に因つて損害を受けたるに歸因する者にして當時の原約を信守し能はざるは明瞭なり依て應に其効力を失せる者と爲すを至當とす但し將來露國内亂の平定を俟つて政府は別に協約國通商條約に照して再援すべしと之れに對して昨年日英佛三國公使は斯かる企てあるを聞き非公式に支那政府に對し露國は縱令混亂狀態にあるも各國何れも兵力財力を以て之が復興に努力中にして國家として滅亡したるにあらざれば支那政府が單獨行爲を以て神聖なる條約を廢棄するは不穩當なりとし注意をなしたることあり今回も外交團に對し正式に條約失効の聲明を通告し來るに於ては右三國公使より北京外交團の問題として傳へられたりを發するに至るべしと傳へられたり

若し夫れ其の自治取消の善後方法に至りては遂に一日附の總統命令を以つて從來の辦事長官其の他の各職を廢止し徐樹錚の西北籌邊使を以て前後一切の事項を督辦せしむる旨を宣布し尚は同時に辦事長官陳毅を豫威將軍に任命したり、尚は支那政府は浦鹽に任る李家鎏に電報を發し外蒙古が露國に對し負債償還の爲め三百万ルーブルの買收を命令せりと云ふ

而して徐樹錚は善後費用として目下各種の借欵を運動しつゝあるが傳へらるゝ所の消息は左の如し

(一)徐樹錚は一未發の行邊業公債二千萬圓を抵當として籌邊忍の名を以て天津に於て米國籍の猶太人益昌洋行と五百萬借欵締結中なり目的は邊業銀行設置なりと

(二)徐樹錚は陸宗輿に對し邊業公債二千萬元を滙業銀行に向つて五百萬元の抵當にせんことを相談せるが陸は邊業公債公布後始めて抵當にし得べしと答へたり

(三)徐樹錚は庫倫都護使署の經常費年六萬元軍事特別費月三千元を籌邊使署に歸せんことを請ひ已に許可せらる

(四)徐樹錚は天津に赴き小借欵壹百萬元を成立せしめ之れを以つて露國紙幣五百萬元を購ひ外蒙に代りて外債を支拂はんと欲する爲めにして餘剩金は王公爵の俸に充つ可しと

(五)徐樹錚は邊公債二千萬元を以て天津の日本銀行に日金五百萬圓の抵當となさんとせるが、投資者は契約書籌邊使の印を捺さんことを要求せる爲め、徐は印を帶びて天津に契約すべく出發せり

報道一ならざるが該善後費用成立せし曉に再び活佛冊封の爲め入蒙すべしと云ふ

更らに徐樹錚は秘書に命じ西北籌邊使官制擴張案を起草させ居れり其の内容は籌邊使の下に總參謀長警視總監、鐵道總監、經理總監軍事總監一名參贊官四名を置き科布多、呼梁と海島里雅蘇臺恰克圖に駐在させ尚は邊防軍は擴張の第一歩として第五第六旅團第二歩として來年六月更に第七八の二混成旅を增加すべしと最近の報道によれば徐樹錚は國務院に對し左の如き密書を提出したり

(一)時局　陸榮廷と連絡して政學會を操從すべし(二)外交　表面日本と關係を親しく竊かに米人の救助を仰ぐべし(三)援兵　各省の軍隊を解散して後中央軍の軍備擴張を圖るべし(四)蒙事　先づ五百萬元を才覺して外蒙の負債を償還すべし

右に對し徐總統及び靳總理も均しく贊成を表し氏の提言を多としたる由なるが未だ批准に至らざる由此項に對して說者は曰く

徐樹錚の外蒙に於ける成功は一日の命令を以て辦事大員公署籌邊使署に合併せしめ爲めに一層西北籌邊使の權限を大ならしめたり、東三省を一手に握れることを相組める張作霖と徐樹錚は已に東北と西北に於て確手たる地盤を有せり、靳内閣を過渡期内閣として緩衝せしめ來りし此の一ケ月の間に此成功を見る段派のプログラムは已に步一步進みつゝあり此時に當り阪西少將は一ケ月の暇を乞ふて歸國の途に上る舊交通系や徐馮派が福州事件を繕りて天下を騷然たらしむる底意は明白となれり、即ち段派のプログラムの遂行さるゝを見ては爾かく學生を繕る外なきなり曾つて端群王は團匪を煽動し今又馮派其他は外來思想に感染せる學生を煽動する自殺の行動眞に度すべかざるなり

●米支借欵の近狀

米國よりの來電によれば煙酒借欵契約は去る十一月三十日調印を終れり、而して借欵金額は三千萬弗にして調印と同時に五百萬を交付せりと爲めに某議員は米だ國會の同意を得ざるを以て近く質問を提出すべしと傳へらりとは、五日附北京電報なるが尚は米支銀行の米支借欵に關する報道は左の如し

徐息元と三千萬元の煙酒借欵を締結したるシカゴ商業銀行は今回更らに一種の米金支那國庫債券五百五十萬元を發行し、其發行日より起算して三年目に本利を償還し利子は年六分、申込價額は九八五なりと此債券は三千萬元借欵の一部にして一九一六年十一月に契約せし本年十一月十六日已に滿期となれる煙酒借欵の本利の償還に充つるものなれば、支那政府は現金を收受することなくして新借欵を以て舊借欵を還償するに過ぎざるなり、若し新煙酒借欵にして成立せば殘餘の二千四百五十萬元は支那政府に交附せらるゝものなれども、該金額は米國一個の借欵となるや或は三、四國銀行團の共同借欵となすかは未定なり、尚は國庫債券發行に際しシカゴ銀行は宣言して曰く

債券は支那政府直接の債券にして担保は支那四省の釐金にじて明年の收入須算は四百九十一萬一千六百九十二元なり別に煙酒稅の担保となせるあり、此收入團算は一千四百五十

▼京津間の學生示威運動に交通系の業は運動費三萬二千元を支出せりと

▼徐大總統は福建事件に關して靜に解決を待つべしと訓電す

▼支那政府は浦鹽の李家鎏に電報を發し外蒙古が露國に對し負債償還のため三百萬ルーブルの買收を命令せり

▼外交協會は林長民を主席として福建事件に對し強硬なる態度を取るに決ぜり

▼上海商民は「修正上海洋涇浜北首發程草案」を作りて交涉公署に赴き領事團に提交を依賴す

▼上海太平洋學社日本外務大臣に通電を發す

▼上海各團體米國上院に感謝電を發す

▼本日總統令を以て外蒙古自治取消の結果從來の辦事長官其他の各職を廢止し徐樹錚の西北籌邊使を豫威將軍に任命し尚同時に辦事長官陳毅を豫威將軍に任命す旨を宣布し尚同時に辦事長官陳毅を豫威將軍に任命せり

▼國務院は本日庫倫陳毅に宛逆刻歸京せよと密令せり

▼徐世昌米國貴賓を招宴す

▼外蒙古に加封し徐樹錚を冊封專使に、恩華李垣を副使に任ずる命令發布さる

▼徐樹錚は西北籌邊使官制擴張案を起草中なり

▼福建事件調査のため外交部は王鴻年陳某二名を福州に派遣せり

▼徐樹錚は未發行の邊業公債を抵當として五百萬元を米猶太人と商議中なりと

十二月二日（水）

▼徐樹錚は活佛四封のため十二日頃出發すべし

▼英國軍艦二十三日頃來支すべしと

▼天津に於て大政黨組織運動中なりと

▼支那政府は東津鐵道は支那の主權の下にあれば西伯利亞鐵道と同一に論ずべからずと李家鎏に打電す

▼表面李純の主張によりて組織されたる全國和議仲裁團は其の目的を各省議會と聯絡し南北國會を解散するに在りと、安福系民黨共に反對なり

▼日本側も福州事件に關し實地調査の必要を認め外務省及び公使館より一名宛派遣すべしと

▼日、英、米、佛四國に一名宛派遣すべしと軍政府改組派大打擊

▼支那政府は勞働問題につき工場規定は日印兩國の規定に依るべしと顧維鈞に通知す

▼徐樹錚は孫文と提携すべく近く使節を來滬せしむべしと

十二月三日（火）

▼參議院は閣員同意案を、教、農、を除きて通過せり

▼徐世昌米國貴賓を招宴す

▼徐樹錚は本日庫倫陳毅に宛逆刻歸京せよと密令せり

▼國務院は本日庫倫陳毅に宛逆刻歸京せよと密令せり

▼本日總統令を以て外蒙古自治取消の結果從來の辦事長官其他の各職を廢止し徐樹錚の西北籌邊使を以て善後一切の事項を督辦せしむる旨を宣布し尚同時に辦事長官陳毅を豫威將軍に任命せり

▼上海太平洋學社日本外務大臣に通電を發す

▼上海各團體米國上院に感謝電を發す

▼徐樹錚は西北籌邊使官制擴張案を起草中なり

▼徐樹錚は活佛冊封專使に、恩華李垣を副使に任ずる命令發布さる

▼外蒙古に加封し徐樹錚を冊封專使に、恩華李垣を副使に任ずる命令發布さる

▼福建事件調査のため外交部は王鴻年陳某二名を福州に派遣せり

▼徐樹錚は未發行の邊業公債を抵當として五百萬元を米猶太人と商議中なりと

十二月三日（水）

▼徐樹錚は活佛四封のため十二日頃出發すべし

▼英國軍艦二十三日頃來支すべしと

▼天津に於て大政黨組織運動中なりと

▼支那政府は東津鐵道は支那の主權の下にあれば西伯利亞鐵道と同一に論ずべからずと李家鎏に打電す

▼表面李純の主張によりて組織されたる全國和議仲裁團は其の目的を各省議會と聯絡し南北國會を解散するに在りと、安福系民黨共に反對なり

▼日本側も福州事件に關し實地調査の必要を認め外務省及び公使館より一名宛派遣すべしと

▼日、英、米、佛四國に一名宛派遣すべしと軍政府改組派大打擊

▼支那政府は勞働問題につき工場規定は日印兩國の規定に依るべしと顧維鈞に通知す

▼徐樹錚は孫文と提携すべく近く使節を來滬せしむべしと

石炭　紙　銅　硝子　電製　電話

一九一二〇四六六五三三

鑛物分析調査

鑛物分析出

三菱公司

三菱鑛物分析所

上海廣東路九號

古河商事株式會社上海支店

古河鑛業會社上海支店

仁記路一B號

電話　二二二二二　二二二一　一二六七　〇九一

支店及炭鑛船舶金融時務執務代理會

石炭電銅

長崎物産外國商

一萬四千九百九十二元なれば、若し支那政府にして償還を實行なさざる時は此項の收二入を以て償還する事を得べし云々と、聞し所に由れば米國政府は該シカゴ銀行に照會して曰く支那政府と新借欵契約の成立を見たるは政府も贊成する所なれど支那の財政狀に態注意せられんことを希望す云々序に目下支那の負担せる內外借欵の總額は約三億鎊にして一人の負担額は三元一角三分なり

●福州事件の其後

▼日支共同にて實地調査▲

□

福州事件は支那各地に亘りて山東問題に對する以上の勢力を以つて排日の籍口物となれり、其事件の眞相は未だ不明なるが日支兩國の當局は共に實地調査の必要を認め日本側に於ては外務省より松岡書記官北京公使館よりは西田通譯官の兩名近く福州に出發すべく支那側に於ては外交部の王鴻年及び陳毅の兩名は去る二日已に福州に出發したり、何れ該地に於て共同調査すべく外交部と公使館の打合を了したりと云ふ

□

茲に奇怪なるは各地の學生は殆んど常規を逸したる擧動を敢てし上海に於ける學生は日貨を掠奪し京津の學生に至りては左の如き無禮極る傳單を散布したり

嗚々怪事嗚々眞怪事彼三島〇〇竟に取て我國を以て俎上の肉と爲し朝鮮を奴隷とせるの手段を以て中國を奴隷とせり矣竟に敢へて明目張膽械を持し兇を逞ふし故無く我が福建敎員學生を殺戮し我が福建巡警市民を毆擊し勢尙未だ已まず復狠の如き虎の如き艦隊を派遣し我が閩海に侵入し我が學生多數を擄へ去る嗟呼福建の學生敎員は中國の學生敎員なり福建の巡警市民は中國の巡警市民なり福建の學生敎員警巡市民已に任意以て殺戮すべければ即ち凡を中國の學生敎員巡警市民孰れか以て任意殺戮すべからざらん是を以て是を推せば中國の人民長と無く少と無く男と無く女と無く彼の〇〇之を臣妾せんと欲せば臣妾とし奴隷となさんと欲せば之を奴隷とし殺戮せんと欲せば之を殺戮す是をして忍ぶべけんや孰れか忍ぶべからざる凡を我が同胞豈に釉手旁觀默爾として忍びんや嗚呼青島の交涉未だ終らず福建の事變又起る蕪爾たる東隣心懷測叵し衰れなるかな我が中國危亡且夕同胞手同胞手其れ速かに此の未だ亡びざるの國未だ殺戮を被らざるの餘に乘じ協力同心急起直追日貨を抵制し以て此の慘として人道無き公理を蔑視するの〇〇に對付せよ或は尙國權回復大仇國報の一日あらむ乎

□

更らに各地の學生輩は事件の曲、直ちに日本に在りと速斷し左の數項を決議し居れり

一、日本軍艦をして馬公に引上げせしむる事

二、福州日本領事の交迭

三、事件に關係在る日本警官及犯人の處罰

四、新任福州領事より李督軍に謝罪

五、負傷者の慰藉料死者の賠償金

而して最も奇怪とせるは天津に在る交通系の某は學生の怒動に對して連動費三萬二千元を支出せりと傳へらる、之れに對する支那當局の態度は何等の取締りを敢て爲さず却つて左の如き一片の訓令を發せるのみなり

在國日本人我が國學生巡警を傷斃せる一案は事國權民命に關す亟かに應さに嚴重交涉すべし已に外交部より抗議を提出せり併せて莊代理公使に電命して一致處置す近ろ迭ば外省各界來電爭議を力持す用意正に同じ惟中央は此事に關し注意をなす日來正に積極進行中に在り外間或は未だ深悉せず希はくば即ち各界に交涉解決を靜候し切に枝節を生じ彼方に口實胎すこと無き樣傳知せられよ云々

□

支那當局は先づ、かくの如き恩動學生を取締り且つ排日の風潮を嚴重に取締り而して後に福州事件を言ふべきにあらざるか

尙ほ當地某支那名士の福州事件觀を紹介せば左の如し

未だ詳報に接せざるを以て果して如何なる程度の衝突にして其原因曲直が日支何れの側にあるやは知らざれども之は吾人の問ふ所にあらず何となれば國際間に通商條約の嚴存せる以上、之れが條項の遵守は云ふを待たざるなり、其の何如なる名目の下にもせよ未だ社會的に獨立せざる學生輩をして日貨輸送の途上に於て之れが檢査沒收を許し敢へて取締り得ざるは之れ我が當局者の無能力なることを證するものにして日本が今日迄に嚴重なる態度を以て之れが取締りを我當局に逼らず、亦た要求すべき權利を主張せざりしは、手段を誤りたるものと見るを得べし、而して福州に於ける事件の如きも其原因が學生側にありとするも、日本人側にありとするも要するに地方的の一小問題に過ぎざるなり然るに日本政府が之れを見ること甚だ重きに失し軍艦を派遣するが如きは事の輕重を過りたる措置にあらざるか若し本年五月以降の隱忍の結果が適ま此の一些事のために爆發したるものとせば宜しく正々堂々たるべし、日本が如何なる名目を用ふるも福州に軍艦を派遣したるの事實は吾人も亦た之れを知れり、然るに一片の平官報的東京電報を以つて、之れを否認し去らんとするが如きは日本政府の爲に執らざる所なり、兵は兇器なり猥りに用ゆべからず、其用ふるには法あり日本の軍艦派遣を以て其意在留民の保護にありとせば何の憚る所かあらんや、余は衷心より日本の爲に日本外交當局者に其人のなきを哭嘆するものにして、若し小策を以て我に對するとせんか、其巧妙なること到底我が官場に敵せざるなり、日本は寧ろ無策を以つて我に對すべきなり今春以來日支兩國間の國交兎角圓滿ならざる期に際し此の如き不祥なる事件の發生したるは、日支兩國の爲に將た亦た東洋平和のために痛惜に勝へざる所なり云々

上海報界の過去及現在（五九）

□復舊政治の外國氣兼ね

▼政事堂は袁の復舊政治の具體化した制度で、此制度と共に安徽系と廣東系の爭執は無くなつたが、云はゞ安徽系の勝利であつた、即ち陸軍の段祺瑞、外交の孫寶琦、內務の朱啓鈐、國務卿の左右亟に錢能訓、楊士琦が從入つたことで判かる乃で前淸官僚の集合たる、此政事黨は甚しく南方から呪はれ、支那は民國と云はんより、寧ろ官國と云つた方が適切であると評されたものである

▼隨つて袁世凱對外關係上、復舊政治振りに大分氣兼ねせればもぬ點があつた樣である、ケレども袁も拔かりはない、英國とは多少打合せがあつたものらしく、支那通ブランドのの如きは五月號のナショナルゲユで、青年支那に贊成せず袁のディクテーターを欲し、支那亂の危險は寧ろ滿州人に對する反感より也、青年支那の激烈しで不節制なるものに基づく混亂及混雜の危險程直接でない、青年支那の爲す所は反逆術策、暗殺の犯罪を伴ふからであると云つたものである

▼袁と英國とは民國成立當時より離るべからざる關係があるから具論の要なしとして、當時我國に於て遂歩派の在野政治家大隈伯を首班とする新內閣出來たが袁も之に大分氣を注ひだらしい、何とされば大隈內閣が青年支那に同情する樣になつては、困るからである、乃で多策なる袁は先づ當時米支同盟說を流布して、日本の牽制に資した、右同盟說は米國が東洋に海軍根據地を要望し、あるを機としたもので、互に意見の交換を遂げ五十餘個條の預備契約を結んだと報ぜられた

▼其內容の大要點は(一)支那軍港を支那に提供す(二)米國支那海軍士官の養成を引受く(三)支那は軍艦製造を米國に委任す(四)米國は支那海軍復興を支那に貸與すと云ふに在つたけれども米國側は顯かに之を否認したのである、袁が殊更らに流布したことは之で判かる

▼ソレから袁は、對內對外雙方を兼ねた新舊の淘治に關する總統令（五月十四日）を下したが其內容は「新舊を糟粕に治し、新政の基礎の意を加へて保全し、留めて他日恢張の地步を爲すと云ふに在つた、誰れも之を信ずるものはなく、餘りの所外國人の手前と新人物喜ばせの一時的糊塗策に過ぎないと見たものである

▼當時の輿論中、御用紙神州日報は昌黎の件が大隈內閣によりて結了せるを稱し、大隈伯が亂黨に致されない樣にと云はんが爲の言議を吐ひたが、申報に至りては、外人の言論其れ中國近日の一種の潛勢力乎と云ひ、徐世昌が留學生を用ひずとのロイテル電報あるや、徐の親近者は之を否念し、張鎭芳の財政總長說に對する北京ケセットの反對あるや、徐亦之を否認せり、外人の言論を重しとするも甚しと攻擊したが、二者共に復舊政治に對する袁政府の氣狀を忖度するに足るでではなか

營業
各種企業ノ調査設計、引受及仲介、資金ノ供給及融通、債券ノ應募其他一般信託事業
中日實業有限公司 滬行
上海香港路六號
電話 中二六三八支配人室 中二六三七 中二六二六事務室
本店 東京
總行 北京

資本金五千萬圓
拂込濟參千萬圓
株式會社 三菱銀行
上海廣東路九號
本店 東京
支店 丸之內 深川 日本橋 大阪 中島 神戸 京都 名古屋 倫敦 紐育
電話 營業支配人室 二九六三 買辦所 二九六四 辦用 二三四八

と言ひ終りて瞑目悵然たり矣（上海に於ける愚動學生の狂態は雜報に讓る）

●陸榮廷、岑春煊會見

▲廣東の形勢變ず▼

前きに岑春煊は陸榮廷と會見すべく桂林に赴きたるが、愈々先月二十九日廣東に皈り三十日午前軍政府に入れり、政學會側の消息によれば岑は二十四日伏波灘に於て陸榮廷と軍艦内にて會見し二十七日到着せる譚浩明と會見し同日午後郭松年等を隨へ皈路に就きたるものなりと云ふが其の會見の結果、時局に對して左の如く決定したり

一、國内和議を恢復する事、其前提として王揖唐總代表を交迭せしむ

二、南方行政、軍事の統一、即ち軍政府内部の自動刷新、軍制統一及武器彈藥の補助を計るため廣東南寧兵工廠の擴張を行ふ但し右軍備の充實は戰鬪準備を意味するものに非ず南方自衛の見地より出づ

三、建設會議を開き地方自治の進行を計る

四、陸榮廷は岑春煊の地位を擁護すべく誓ひ國會方面の改組案に對しては反對意見を持し居れり

又某有力國會議員は大要次の如く語りたり

今次岑煊春の廣西行きの動機は曩に龍州會議に於て決定せる譚浩明を廣東督軍として廣東省長に暫らく現在の張錦芳に代理せしめ南北和議成立後は林紹裘を之に命じ財政廳長に曹彦、王乃斌、王榮之の内一名をして代らしめんとするに關連し莫榮新、岑春煊廣西往復となりしなり岑、陸會見の結果陸榮廷は岑の面目を立て近日莫榮新に對して現狀維持を電報し來りしも陸の人となりの性質よりせば早晩之が交迭を實行せずんば止まざるべし兎に角陸の眞意は地方に於て實力則ち廣西派の地盤問題を主眼とし改組問題の如きは重きを措き居らず隨つて此の問題に對しては總て岑の希望を容れ居れり只國會としては軍政府改組案の如きは最早問題に非ず憲法制定に終らば自然の道程として正式政府組織に進むべければなり云々

更らに徐世昌の密使として梧州に在る程某は徐世昌に宛て大要左の如く密電を送りたりと傳へらるる

岑春煊と陸榮廷との會見は極めて好結果にて雙方に完全に了解し陸は岑を擁護して之を首領と爲すに決し其の他の各代表も之に調印し且つ軍政府改組は中止となり激烈派大打擊を受けたり

茲に於て先月來喧しかりき軍政改造問題も全く失敗に終りて政學會系は岑をして軍政府の自動刷新を行はしめ南方國會憲法制定を待ち北方に南方憲法の承認と日支密約廢棄を要求し若聞かざれば南方正式政府を組織し北方に對峙せんとの意を有するものゝ如し、又近日陸の使節王某が頻りに雲南廣西間を往復せる事實より見て之に關し陸と唐との間に既に默契ありと信ずべき理由あり、今次陸が岑を呼び迎へたるは之が打合せの爲めなりと思惟さる

然らば西南の局面は那邊に向つて展開すべきや、並びに北方との和議問題は如何に、北方に徐樹錚ありて政學派を憎むの余り陸岑の結合に對して孫逸仙等の民黨系と結ばんとしつゝありと傳へらるゝに至りては問題は簡單にあらざるなり

●舊國會に於ける政派

世人の多くは舊國會を目して國民黨議員の集合せるものの如く解し居れど事實は必ずしも然るにあらず或は北京に失脚したる研究系議員の加入するあり或は西南獨立後北京經濟調査の有力者の投ずるありて決して一の國民黨議員の集合とは見るべからず、已に民國五年舊國會の恢復せられたる當初に於てさ、國民黨、内民俱樂部、政學會の三派に分かたれたるが、其後議員の出入の復雜となれるに從ひ幾多の小政派に分離せり、之れを大別すれば大約左の如し

（一）照霞樓本派議員約四十名、其内容更らに三派あり、同盟會派は故の中華革命黨にして國會恢復内民俱樂部と稱せしものなりしが、韜園と合同したる後ち民友會と稱せり世人の所謂「大洋派」にして居正、田桐等之れが中堅をなせり、進歩黨崩解後其一分派を袁の死後韜園俱樂部と同合して民友會を組織し、南下後若干の激烈分子を合せ、彭介石、萬鴻圖、張新吾、温世霖等を中堅となせるものにして世人の所謂「小孫派」にして孫洪伊の一派なり、其共和派と稱するものは、舊共和派の王湘高振屑等之れか中堅をなす、而して大孫派は歴史的に廣西派及政學系と融合せず、小孫派及共和派は共に地盤强固ならざるより、唯だ高調善唱を以て國會内に不平を鳴らすに過ぎず、即ち舊國會中の激烈分子にして、直隷、湖北選出議員多くの之れに屬せり、

（二）五十號本派とは西南政府黨にして其黨員は舊北京政學派の一分子にして所謂護國軍派なりとす其の南下當時は議員最も少なく嫡派と稱するもの僅かに三十餘名、其の常に集會する地が南關五十號なるを以て、廣東にては「五十號」派の稱あり、現今には岑春煊を押して黨首となし章士釗、冷遇秋の二人之れか輔け、張耀曾谷鐘秀を謀首となし、金兆棟楊永泰、徐傳霖、韓玉辰、文羣、李爲綸等を中堅となし、李根源を黨外顧問となす李根源は五十號派と關係を有てる以外更らに資を供して石行會館派なる一小派を組織せしめ居れり、此派は現在にては政學會派の別働隊の如きも、他日李根源の爲に奔走を辭せざる一黨派なり、世人は五十號派の議員の主張が北京の研究系と相近く、且つ種々なる手段を用ひて政權の獲得に奔走努力するを目して「官僚派」

三、新々倶樂部此派に屬するものは議員自身の地位的關係より臨時に結合したる一派にして、南北和議の稱へられ、恢復六年國會説の囂々たるや、其地位を失はんことを恐れたる議員の一集合團隊なり其議員數約二百餘名なれども政治的に拘束を受けゝるより、各自の任意に運動しつゝあり、且つ此派に屬せるものは、新たに政界に入りたる新人多ければ往々激烈なる言論を弄するもの少なかざず、故に此派は或意味に於ては政黨とすべきにあらず

上記の外尚ほ小數黨派多數あるも記するに足るもの少きを以つて他日に讓る

●道清鐵道延長契約の内容

道清鐵道延長に關し、福公司の代表者カンリック氏は北京に到り交通部に該公司代表より許世英の交通部長時代に提出せし提議は已に交通、財政兩部に於て之れが允可をなせり聞該代表が提出せし契約草稿は廿九個條にして、別に前渡金に對する條件六個條にして該鐵道の工事の畢らさる以前にありては道清路より之れを管理し、工事竣成の曉は管理權は清平公司に歸し、道清公司の契約の掣肘の受けず、福公司は英人の經營に係るものなれば他國に讓渡或は借款等の事をなす得ず、利子は年七分にして目下磋商中にあれど久しからず成立すべしと傳へらる

社告

本誌發送に就き最近途中にて帶封切れ致し候ため宛名人に到着せず郵便局より二三部戻り候間今後本誌御落掌なき方は直ちに其號數を御一報煩度願上候也

大正八年十二月

春申社

東京火海災上保險會社
明治火災保險會社
日本火災保險會社
共同火災保險會社
東京火災保險會社
千代田火災保險會社
横濱火災海上運送信用保險會社
神戸海上運送火災保險會社
大阪海上火災保險會社
代理店
上海 三井洋行
文路第壹號
申込所 山口商店
（電話四九九二）
（電話北四九九）

日本參酒株式會社釀造
代理店
上海 三井洋行
（電話四九九〇）

サヒビルー
上海文路第一號
山口商店
（電話北五四九）

民國政治史論（五九）

南北勢力對峙時代

八、廣東軍政府

□

▼吾は人更に眼を轉じて南方の形勢を見るであろう、南方の内訌は北方に劣らぬものがある、唯だ北方に於げる夫れの如く、各勢力の隆替が内閣の更迭、政權の爭奪、財權の壟斷など眼に見える事實に表示せられぬだけに、及び政局の當面でないだけに、人の注目を惹くことは少ないが、實は南方にはまた南方の内訌がある、北方の内訌は要するに北洋派内部の内訌であり、更に廣義に解釋しても官僚内部の暗闘であるが故に、結局は北洋派であり、官僚であるといふ點に於いて何程かの纏まりが見出さるゝ譯であるが、南方に於いては全然其歸一する所がない、巨頭陸榮廷は匪徒上りの豪俠者として憲法政治に何等の理解なく、雲南督軍唐繼堯は大雲南主義を追求するの外殆んど餘念なく、軍政府大元帥孫文と來ては人も知る理想家、此等武人と爪の垢程も相容るべき餘地がない

▼要するに思想に於いて、傾向に於いて閲歷に於いて、利害に於いて、はた又た對北方方針に於いて、南方の各勢力は全然統一さるべき運命を有して居らぬ、到底両立し難き吳越の同舟も厄介であるが、肥瘠相關せざる秦楚の同車もそれ以上に厄介である、之が南方に不統一といふことが痼疾としてこびり着いた所以で今に至つて尙ほ膠して離るゝ能はずだ、シカモ其痼疾は孫文が民黨一味を引具して上海より廣東に南下し來つた以來此時に始まれるものに非ず、實に孫文南下の當時に於いて上海在住の舊國會議員等によりて提唱されたものであつたが、當時は殆んど問題とならず、問題とせられざること半年餘の久しきに亙り、今度は却つて陸榮廷側の利器に用ゐられたものである、申すまでもなく目下の有樣に於いては西南護法各省間に何等の統一なく、軍事、財政、外交に於いて特に不都合を感ずるを以て、兎も角統一して聯絡を保たうとの趣旨であり、殊に之府を造り、交戰團體たるの承認を列國に求めんするのが其最も主要なる理由であつた（陸榮廷等の計畫は別として）

▼西南各省督軍の賛同の結果西南護法聯合會は民國七年一月十五日を以て廣東督軍署内に成立した、當時集まる者、程璧光、林葆懌、饒鳴鑾、李烈鈞、陳炯明、吳景濂、胡漢民、伍朝樞等十數名、其大部分は民黨舊來の家の子ではない、會の成立には莫榮新、李烈鈞等最も與りて力ありとせらる、名は護法會なるも、其實は孫文一派の護法の名を借置くことは出來ない、殊に廣東に於ける複雜なる政情は益々兩者の間に水を注いで、其の折合ひは日に惡しく、民國六年末には陸は愈々軍政府壓迫方針に決するの有樣であつた

▼此の方針の下に泛び出でたのが西南護法聯合會である、西南聯合會の計畫は必ずしも此時に始まれるものに非ず、實に孫文南下の當時に於いて上海在住の舊國會議員等によりて提唱されたものであつたが、當時は殆んど問題とならず、問題とせられざること半年餘の久しきに亙り、今度は却つて陸榮廷側の利器に用ゐられたものである、申すまでもなく目下の有樣に於いては西南護法各省間に何等の統一なく、軍事、財政、外交に於いて特に不都合を感ずるを以て、兎も角統一して聯絡を保たうとの趣旨であり、殊に之府を造り、交戰團體たるの承認を列國に求めんするのが其最も主要なる理由であつた（陸榮廷等の計畫は別として）

▼西南各省督軍の賛同の結果西南護法聯合會は民國七年一月十五日を以て廣東督軍署内に成立した、當時集まる者、程璧光、林葆懌、饒鳴鑾、李烈鈞、陳炯明、吳景濂、胡漢民、伍朝樞等十數名、其大部分は民黨舊來の家の子ではない、會の成立には莫榮新、李烈鈞等最も與りて力ありとせらる、名は護法會なるも、其實は孫文一派の護法の名を借りて、其一枚着板を奪ひたる同樣、シカモ正會長に岑春煊、副會長に陸榮廷を以てせしが如きは、岑陸兩者の關係密接なるを知る者の齊しく首肯する所であらう、彼等は直ちに軍政府改造問題を提げて孫派の中心たる國會議員派に肉迫しゆいた

▼國會議員派に在りては由々しき大事である、彼等は盛んに聯合會の擧措を誹議し、軍政府改造案に關しては是非とも非常國會の議決を要すべしと主張した、程璧光、伍廷芳唐紹儀等は國會の主張に大反對である、こゝで民黨側は既に二派に岐れた形である、シカモ兩々相對して下らず、甲論乙駁して居る間に二月二十六日夜、程璧光は何者かに暗殺されて斃つた、此暗殺事件の眞相は未だに不明である或は廣東に於ける南方派の敵である北方側の一惑星龍濟光の放つた刺客であると云ひ、或は程を以て莫榮新の後を襲がしめんとせし廣東派の計畫を廣西派が裏掻いた者だとも推察されて居る、併し乍ら眞相は依然不明、今後の確實なる材料を待つ外はないが、程の死後海軍は林葆懌の統括に歸し、大體の經過に於いて程の横死は何等の影響をも殘さなかつた。

□

▼非常國會側の委細構はず西南聯合會の軍政府改造計畫は着々進行して行く、改造大綱全部十三條、名づけて中華民國聯合政府組織大綱と云ふ、左の如し

第一條　中華民國聯合軍政府は護法各省各軍の聯合なり以て基礎となし、國會大總統の職權を行使する能はざる期間に於いて大綱の規定に依り中華民國の行政權を行使す

第二條　聯合軍政府職權左の如し

一、和戰に關する件

二、共同外交辦理約訂立

三、共同財政監督、内外公債の募集

辦理

四、各省間の爭議事件裁決

五、護法軍隊の加入承認の件

六、軍備統率及作戰計畫の件

第三條　聯合政府は國會非常會議に選出せる政務總裁七人を以て政務會議を組織し其職權を行使す

第四條　聯合軍政府は左記の各部を設立し政務會議に直隸す

外交部、内務部、財政部、參謀部、海軍部、交通部、司法部

第五條　各部事宜は政務總裁兼管を除き各部長一人を設くるを得

第六條　部長は政務會議より推薦し或は之を特任す、政務總裁事故ある時は部長一人に委任するを得

第七條　政務總裁は其他の職務を兼ぬるを得

第八條　凡そ政務に關する文書は政務總裁より連署之を公布す

第九條　政務會議は秘書廳、參軍處總務處を設く、其組織は條例を以て之を定む

第十條　護法各省は自ら政府職權を主とし一に其舊に仍る。但し現北京政府の機關に屬し各省直接管轄する能はざる者は聯合軍は之を回收するを得

第十一條　本大綱は宣布の日より施行す

第十二條　本大綱は國會、大總統能く其職權を行使し得る時を俟つて廢止す

第十三條　本大綱は此修正を經たる後現軍政府所辦の一切事宜は仍ほ繼續辦理す

▼恰がも是れ一種の孫文排斥案である。彼等の見解に從へば南方の融和を妨ぐる者は軍政府、非常國會を中心とする孫文一派の空論黨である。南北妥協の障害を爲す者も亦舊國會恢復を唯一の信條とする孫文一派の護法論者である。所謂陸榮廷一派の實力派からみればどうして此等の連中は水上に泛んだ一滴の油とかしか見ぬ。況んや裏面に於いて利害の衝突せるあり、孫文排斥は實力派の輿論も同樣になつて居る。併し乍ら何と云つた所で孫文は民國の元勳であり、軍政府の大元帥であり、一部の輿望未だ全く去れりとはせぬ。殊に廣東人にとりては正に尊敬すべき一個の卿先輩である。孫文排斥が輿論となりつゝも陸が輕々しく之に手をつけ能はざる所以。遂に法制の改革によりて眞綿首の方法に出でたのであるされど實力なき軍政府に於いては之に對抗すべき何等の方便もなかつた。

□

▼陸榮廷を中堅として雲南唐繼堯、貴州劉顯世、湖南總司令程潛等何れも軍政府改造の一日も速かに決行されざるべからざるを主張し來つた。是に於いて國會議員派中民黨に非ざる議員（民黨議員等は全部改造反對である）羅家衡、褚輔成等三十餘人は之と相應じて軍政府改造案を國會に提出し、國會は直ちに羅家衡等委員者とする審査委員を設けて之を審査することとした。審査の結果之を討議に附した五月四日、討議の結果はもとより民黨一派に不利。二十三

資本金　貳千萬圓
準備金　千六百萬圓
上海福州路叁號
株式會社　三井銀行
電話　營業　買辦
支店　長　上海　漢口　大阪　神戸
本店　東京市
支店　大阪、西濱、長崎、門司、廣島、川口、深川、大阪
横濱、福岡、下關、名古屋、若松、大松
京都、樽
小

資本金　參千萬圓
（内拂込二千六百二拾五萬圓）
諸積立金　六百參拾五萬圓
本店　大坂
支店　東京、横濱、名古屋、京都、大坂、神戸、兵庫、尾道、新居濱、吳、廣島、柳井、下關、門司、若松、博多、小倉、久留米、布哇、桑港、孟買、濠口、シアトル、紐育、倫敦、
株式會社　住友銀行
上海九江路五號
電話　（支配人用）二二二二一　（營業用）二二二二二　（同上）二二二二二　（買辦用）三五三六（夜間專用）

票の反對、二十七票の棄權に對して九十七票の贊成を得、軍政府改造案は一氣呵成に可決されて仕舞つた。孫文は即日大元帥辭職文を國會に送つた。

▼之より先き孫は愈々軍政府改造案の提出さるゝと聞くや預め其輕擧妄動なきを戒しむべく、特に議員一同を茶話會に招き懇々說いて曰く

今や支那の狀態は外交と內政とを問はず根本の動搖するを好まず、軍政府改造の如き是れ護法問題の根本をして動搖せしむるものに非すや。況んや正式國會召集の日は今後二個月後に過ぎず、正式國會として成立せんか改造また厭ふ所に非ず唯だ朝令暮改の如き、內外人士が何れも我護法の擧を以て烏合の勢と爲すに至らんかを畏る。故に余は改造に反對す

と。されど大勢は殆んど之を奈何ともするに由なかつた。

▼されば大元帥辭職も彼にとりてはもとより豫定の行動に外なはぬ。彼の辭職文に謂ふ支那の大患は武人の雄を爭ふより大なるはなし。南も北も一丘の貉のみ、護法の省と稱するも首を法律と民意との下に俯するを肯んせず、軍政府成るも人多くは之に就任するを肯んせず、非常國會に對しても殆んど之を尊重するの所以を知らす。

と。恐らく是れは彼れの南方實力派に對する滿腔の不平であつたらう。結末に下の如く述べて居る。曰く

今や軍政府改造問題、非常國會によりて決議されたり今後群策と群力とによりて護法の大義を光輝せん。而して其成功を告げば豈に民國のみの幸ならんや。余は今後個人として民國の爲め其天職を盡さん

と。斯くして五月二十二日孫文は戴天仇、朱執信、夏葉聲等數名と共に飄然として廣東を去り、日本に向つた。古ならば匹馬蕭々嶺南を出づとてもいふところである。

□

▼廣東非常國會にては軍政府改造大綱に從つて孫文出發に先だつ二日、五月二十日に西南聯合政府總裁七名の選擧を行つた。其結果

唐紹儀、唐繼堯、伍廷芳
孫　文、林葆擇、陸榮廷
岑春煊

の七名を以て之に當てた。然るに孫文は卽日政務總裁辭職文を國會に送つた。

其他岑春煊は當時尙上海に在り、唐紹儀は日本に在り、陸榮廷も唐繼堯も其任に在りて廣東に在るは僅かに伍廷芳と林葆擇とのみ。シカモ五月二十八日に至り此兩者漸く就任を諾したるも他は容易に其贊否を云はず、何れも陸の態度如何を瞻るのみであつた。

▼老獪なる陸は容易に其態度を示すことを敢てせぬ。孫文排斥、軍政府改造が彼の胸中の成竹通りに着々進行し成功した所で、直ちに其陣頭に立つて采配を振る程のお調子者でもない。政務總裁に關しても彼は輕々しく動かぬ。北方及び上海の岑春煊等と種々照合する所があつた揚句、六月に入りて漸く就任承諾の返電を致した。惟ふにそれには種々の條件もついて居たことであらう、但しその條件は一般に了解せられて居らぬ、併し乍ら之によりて他の政務總裁も漸く臍を固め前後して就任の承諾を與ふるに至り、一旦辭職したる孫文も軍政府公文書に具名を署せられて抗議せず、何日とは知らず政務總裁の列に入つて仕舞つた。

▼そのうちに六月十二日は來た。申すまでもなく正式國會解散の一週年日である。國會議員等は之に先だつて廣東非常國會を正式國會に引直はす

調査及研究

歐洲歸還支那勞働者の研究（三）

（禁轉載）

吳郎

四

赴歐後の狀態の一

赴歐支那勞働者は、英國の招募したるものと雖も、其の僅少なる一部が、英本國に於て使役せられたるを除きては、大部分は佛國に輸送せられたれば、赴歐支那勞働者を指して赴佛支那勞働者と稱するも、亦た敢て不可ならざるなり、而して英國か山東省等の地方にて招募し、其本國及佛國に輸送したる人員數に鑒りては、區々として未だ發表に便ならざれども、早晩闡明の期あるべしと信ず。

是等勞働者を搭乘せしめたる船舶は、最初地中海を經由して歐洲に抵りたるも、地中海に於ける獨逸潛行艇の跳躍の甚しく、屢々危害を加へられんとせしより、喜望峰迂回の航路を執りたるが、船中に約三ケ月の日數を費すのみならず、航海中往々野菜の缺乏の原因にて、黃胆病者の續出したるを以て、英佛政府委員等は商議の結果、僅かに四航海、八千餘人を輸送したるのみにて、此航路に由ることを中止し、加奈陀經由にて輸送することとなれり、此の如く輸送航路は三變したりと雖も、最後の佛國に於ける到達地點は、ソムメ及マルセールにして、此地に於て一週間の檢疫をなしたる後ち、普通勞働者は約一千人毎に一團を組織し、大尉を以て團長とし、之れを五隊に分ち、中尉を以て各分隊に長たらしめ、各分隊毎に下士五名、兵士五名を配して、勞働者の直接監督に當らしめたり、勿論支那政府が參戰せざる以前にありては、支那勞働者は、多く戰線區域ならざる地方にありて、工作に從業せしめたるも、參戰後は多く戰線區域内に於て使役せり、若し夫れ特殊の技倆を具へたるもの、譬へば大工、機械職工等のものにありては、左記の

Abbeville, Erin, Dannes, Etaples, Boulogne, Wineroux, Emblettuse, Calais, Endre, Dunkerque, 等の地方に於ける、陸軍部の管轄下にある、銃砲製造廠、火藥製造廠、彈丸製造所等及之れに附屬せる諸工廠にして其數八十餘個所に於て、英佛人の勞働者と相混じて使役せり、今是等の工廠の二三に於ける支那勞働者の勞働狀態を調査するに

A. Dunk の工廠にて勞働せる支那機械工等の數は約一千名（大正七年十一月現在）にして、英國機械職工等と同一工廠内にありて勞働に從事せり、其の主なる製作物は陸上甲鐵艦の稱ある「タンク」なりとす

B. Dannes の工廠にては多く小銃彈を製作し、此地に勞働せる支那勞働者數約一千名（同上現在）

C. Boulogne の工廠にては、英國職工の外、埃及、アフリカの勞働者もありて、主として製出する處のものは、各種砲彈及銃砲の修理にして、此地に在る支那勞働者の數は約五百名（同上現在）

D. Wineroux 及び Emblettuse の工廠所在地は濕地なるため、機を見て移轉することとなり居れり、在廠支那勞働者數約二百名（同上現在）

E. Calais 此地に在る支那勞働者の大部分は、所謂苦力にして、英國の招募に係り、其數四千五百餘名（同上現在）主として英國軍需品等の陸揚等なれど特殊伎倆のある勞働者は船舶にて積送中に生じたる機械類の修理をなせるに過ぎず

而して是等の支那勞働者の取扱は、戰事の進渉するに從ひ、數次の改變を經たる後ち、終に全支那勞働者を以て一の軍隊的勞働隊を組織せり、其組織を倒殺せば野外勞働隊の組織は前記のままとし、在工廠勞働者は、各工廠毎に尉官級の支那勞働者隊長を置きて、其の各工廠内に於ける支那勞働者の監督取締を總管し、各軍區毎に中、少佐の檢査員を置きて、其の軍區内の工廠及野外勞働隊を統率し、其の上に大佐の部隊長ありて之れを指揮命令し、總首腦部は巴里にありて師團長相當官の將官之れか部に長たり、而してマルセールに出張所を置けり、此の組織改訂と同時（大正七年六月）に總部長に任命せられたる Aulie 將軍は、曾つて佛國支那駐屯軍の長官として支那に駐在せしことある外、雲南、廣西の國境劃定にも參加したることある、佛國陸軍部内にても屈指の支那通なるか、其他部員 Defontaine 少佐も曾つて北京公使館附武官たりしことあり、殊に佛國有數の支那古文に精通せる Lepage も大佐の亦た部員としてマルセール出張所に勤務せり、其他多少支那に關する智識を有する佛國將校は多く此の支那勞働隊に勤務せしを以て其の支那勞働者を統率繰縱する上に於て、多大なる便宜を得たれば軍事上に偉大なる効果を擧げたりと傳へらる、而かも無規放縱なる支那勞働者は、軍隊的に其の行動の自由を束縛せらるゝを忌み、逃去するもの續出したるも、警戒嚴重なるため其目的を果さず、多くは捕られて原隊に送還せられ、徒らに軍法會議の法庭を煩すのみ、其の英國招募の勞働者の逃走して佛國の勞働隊に投じて後ちに逃走勞働者なりしこと分發覺したる場合の如き、或は之れと反對の場合の如きも、相互の當事者は、尠からず手數を彼等逃走勞働者のために費したりと傳へらるる就中曾つて留學生たりしものか、中合にして、且つ普通勞働者と同樣の特別支給を與へらるゝものなるが、唯だ醫藥費の補給を得ると賞與金額が普通勞働者に比して多少增給せらるるとの相違あれど、其金額は、普通勞働者の場合と同じく、一定せるものにあらざりき

然るに戰事の進渉に伴ひ、其の惡影響は漸次に各方面に現出し來りたるが、中にも物價の騰貴の趨勢は、滔々として止まる所なく、交戰國の爲政者をして、之れが防止策に腐心困憊せしめたりき、殊に佛國の如きは、國内の大半が戰事のために荒廢に歸したるを以て、物價の騰貴の狀態も、亦た他の聯合國に比して甚しきものありければ在佛支那勞働者は物價騰貴に原因する生活の困難を訴へ、數次賃銀賃上げの要求をなしたるが一九一八年六月佛國政府は之れか要求を承認し、全年七月一日より之れが實行をなせり、左に一例として Pondtie Nouvelle de St. Fons Priside Lyon が支那勞働者新率賃銀に就て、佛國陸軍との間に締結したる契約書の工賃に關する個處を譯出せば左の如し。

普通勞働者　一日の賃　三法七十サンチーム
火藥製造勞働者　仝　四法

旅行費　一法
住宅屋人費　不定
食費補給　不定
賞與金　不定

而して勞働者團長（苦力頭）及機械職工等の特殊勞働者は、苦力頭にありては、一日の工賃八法二十五サンチーム、機械職工等にありては、一日の工賃五法五十サンチームなるが其の扣除せらるべき諸費用の内譯は普通勞働者と同一なるを以つて、實收所得は普通勞働者に比して契約工賃額の多き丈け夫れ丈け增加せる割合にして、且つ普通勞働者と同樣の特別支給を與へらるゝものなるが、唯だ醫藥費の補給を得ると賞與金額が普通勞働者に比して多少增給せらるるとの相違あれど、其金額は、普通勞働者の場合と同じく、一定せるものにあらざりき

株式會社
上海取引所
專務　吳大郎
電話
重役室　三三三三
支配人　二二二二
庶務課　六六六四
營業課　五四三七
會計課　番番番番
中

大阪商船株式會社
資本金　五千萬圓
所有船舶　壹百二十餘隻
總屯數　卅五萬屯
日本各港、歐洲、北米、南米、玖馬、濠洲、南洋、印度、浦汐、支那、朝鮮、台灣等諸航路アリ
上海支店
黃浦灘路第四號
電話（支店）四二三四　（楊樹浦碼頭）東二〇八
上海發
歐洲、北米經由
日本港行　米國行
香港行
青島行
天津行
大連行
神戸行
台灣行

専門技術者　仝　四法三十サンチ
右の外左記の特別手當を與ふ
危險手當　一日　二十サンチーム
製造手當　仝　五十サンチーム
酸類取扱手當　一時間十サンチーム
穢汚物取扱手當　仝　十二サンチーム
若し支那勞働者にして工廠事務に關し特別努力をなすものは、左記の特殊手當を支給す
通譯者　毎日　一法
勞働者を統率する者　一法
工頭
一等勞働者　仝　五十サンチーム
工廠より支給する食費の補給額は勞働者一人に付き、毎日二法七十五サンチームとし、食器、薪炭、コックの手當等は、工廠より支給するものとす。
安息日に勞働をなすものには、特に次の如く工賃を支給す。
普通勞働者　一日七法七十サンチーム　半日三法八十五サンチーム
製作勞働者　一日八法　半日四法
機械職工等　一日八法二十サンチーム　半日四法十サンチーム
此の如く工賃の内譯を擧げたる吾人は、一歩研究の歩を進めて、其生活を狀態に就て記す處なかるべからず
飲食　一般支那勞働者が日々攝取する所の飲食物は、支那勞働者自身がコック等を傭ひて、調理せしむるものと、傭主側より請負人に命じて調達せしむるものとの二種あれど其の量目等に關しては、佛國政府より規定する所に從はざる可らず、其品名量目等左の如し

工人區別（品名）	特殊勞働者	普通勞働者
米	七〇〇（グラム）	一〇〇（グラム）
麵包	二〇〇	一〇〇
魚獸肉	一〇〇	一八〇
乾魚	二三〇	一〇〇
鮮野菜		二三〇
乾豆	六〇	六〇
茶、油、鹽等	一五	一五

備考　大正七年二月より、佛國政府は、麵包銷費制限令を發したるを以て、支那勞働者所要の麵包の量を一日五百グラムに改めるせり
不足分は米を以て補ふこととなる
衣服　支那勞働者が鄕里を離るゝ時、新調の衣服一領を給したるが、是等の支那勞働者が佛國に到着するや、直に一足の皮革製の靴及鳥打帽一個を給し、爾後六ヶ月毎に、新調の衣服と、靴一足、靴下二足、帽一個を支給せり、佛國政府は是等の費用に充つるため、上掲内譯の如く、衣服費として一日二十五サンチーム宛を徴したるは、佛國政府の預算が一ヶ年七十法を以て、支那勞働者一人の衣服費と規定せるか故なり
家屋　傭者及被傭者の相互の便宜上、勞働者の住宅は多く工廠の附近に設けらるゝを普通とす、而して佛國にては、支那勞働者を收容するために、新らたに一種の Baroquement ou Bois（堀建小屋）を建造して、之れに居らしめたるが、其の建築樣式は土地の乾濕及氣候の寒熱に由りて一定せず、
且つ戰線に近き工廠等にありては、屢々獨逸飛行機の襲擊を被るを以て危險地帶に限り、前記の Barroquement ou Bois の外に、大なる Abois Souterrains（地下室）を設けて、飛行機の襲擊等の場合には、勞働者等をして此の地下室に避難せしむるの設備をなせり、寐台は一人用にして、高さ一尺其の樣式は佛國陸軍式のものに似たるものなり
安息日　佛國及支那の大祭日を除く以外は、日曜日と雖も勞働をなさしむる規定にして、勞働者の保健上唯た二週間に一回の安息日を與ふる規定はあれど、相互の合意上にて、安息日と雖も勞働せしむることを得るものなれば、古來の習慣上安息日に對する理解なき支那勞働者は、當初は何時の安息日にても、傭主側の商量に應じて勞働をなせしも、後には二週一回の安息日に於ける勞働を忌むものを生せり。
罰則　佛國政府の支那勞働者を遇するの方法は、頗る寛大にして犯則の輕きものは、或は詰責し、或は罰俸に處し、其の重きものは禁固刑に處し、甚しきものは原籍地に送還せり、而かも成る可く投獄禁固等の刑に處するを欲せざりしは、一九一七年六月九日、佛國陸軍部が、各軍區長に宛て、左の如き訓諭を發したるに由りても知るを得べし
（前略）陸軍工廠に於ける支那勞働者の犯罪は、之れを佛國陸軍々律に照らして所罰すべきものなれども、彼等支那勞働者は、我が陸軍々律の如何に森嚴なるかを知らざるもの多し、故に若し陸軍工廠に於ける支那勞働者にして、犯則等の行爲ありたる場合には、其の處罰に先ち、犯人が佛國の法律を知れると否とを訊したる後ならざるべからず、例へ罰するの要ありとするも、特に寛大の意を失ふ可からず云々、此の訓諭は實に時宜に適したるものなりしも而かも無恥放縱なる支那勞働者は、佛國政府當局者の好意に酬ふるために、却つて屢々窃盗爭擾等の行爲をなし、罰せらるゝもの頻々として生じたるも其刑罰は概して輕きに失せしかば彼等を懲戒するに足らざりしが如し後ち支那政府か參戰するや、佛國政府の支那勞働者に對する態度も亦た一變して漸く嚴重となれり、而して佛國政府は、一九一八年七月一日、前記の如く工賃の增額をなすと同時に支那勞働者の犯則の場合に課する罰金を左の如く改訂せり

普通勞働者	一日	一法
製作勞働者	仝	二法
機械職工	仝	二法十サンチーム

趣味の上海　卅七

▲租界擴張問題（五）

□

秋風吹き初む頃には、喧しかつた閘北の戰雲も全く拭ひ去られて問題は解決され、工部局の義勇隊も引上げた、……次いで閘北治安の權は警察總監薩鎭冰の手から上海鎭守使鄭汝成の手に移つた
其歲の十二月上旬であつた、閘北の居住支那人が五名にて其の所有地を支那官憲の許可を經ずして外國人に賣却した、戰亂によりて塗炭の苦を味つて閘北人民を救はんがために義勇隊出動となつたことスラ閘北合併と早合點してゐる支那官憲は、此事件に對して無理に該五名を逮捕した、之れによりて上海在留外人は此事件に對して注意を喚起し頗る支那官憲の態度を憎んだものである、殊に該支那人の賣却した地面は道路擴張のために居留地官憲が買收したものであつた
これより以前に於ては、外人が地所を買入れんとする際は上海道臺の許可さへあれば個人名義にて買賣出來た、然るに鄭鎭守使は閘北合併を憂へて印鑑地券をも沒收し外人が個人地所を賣入ること出來ないことにした
租界擴張に對する支那側の態度は大略上述の樣なものである、……話が枝葉に流れるが、閘北に就て面白い話がある
閘北に陳其美が軍司令を置いて江南機器局を攻めた、ために租界接近の地が、危險になつたから工部局の義勇隊が出動したことは前に記した、其の第二革命平定して以來袁世凱か言ふ所の亂黨が各地に潛入した、閘北も無論其數に入るのである袁世凱は亂黨即ち其の民黨の撲滅を期するため盛んに重賞を提供して探偵を使用した、孫逸仙には幾何、胡漢民には何千元……とこんな風に民黨諸士の首に懸賞したのである、其の結果、著名なる亂黨は命を墮す者も少なくはなかつたが途には探偵の跋扈を來した、即ち探偵輩は賞銀を得んがため、無辜の良民を罪に陷れ威嚇强請等所有惡事を働いた、閘北の良民にして其の被害にかゝつた者も少なくはなかつた、茲に於て鄭汝成は次の如き訓令を發した
奸を詰し暴を除くは本、亂を止め良民を安んぜんがためである若し井を設けて人を陷れ或は違法の逮捕を爲すが如きは人民を罪に陷し反つて公安を擾害するものである、近頃當地方には各省の探偵雲集したるが其中には犯人を捕へるものもあるが時には局を設けて誘騙し賞金のために人命を害し或は亂黨機關を假設し愚民を招誘して人黨せしめ、衣食金錢を給し陽に腹心と爲し陰に之れを奇貨として監禁す或は逆黨の書類を僞造して携帶せしめ或は爆裂彈ピストル等を暗藏して贈らしめ之れを陷れ其事實を誇大して官廳に報告し一面密かに人を派して之れを拿捕す、其人は騙られしを知らず自ら亂黨たるを承認した、官邊に於ては其の事情を追究するも探偵をも招喚すること能はざる故に其の眞相を訊ねる由なし而して被騙者は嚴罰に處せられ騙者は賞金を得、此の陰賊險毒は盜跖狄狼よりも甚し、人道天道何處に在りや實に痛恨の至りに堪へず、亟かに禁止を嚴に行ひ此の弊風を一掃べし、各該長官は所屬の探偵に誡して、かくの如きこと無き樣注意べきである、
こんな訓令が發せらるゝも支那である、春秋の筆法で云へば探偵が跋扈して良民を苦しめたことは、其の罪、袁世凱に在りて、即ち袁世凱が賞金を懸けたからである、この一文は確かに民國二年の暮より三年へ、かけての探偵の實狀であつた……（S）

合名會社
鈴木商店上海支店
エドワード七世路六號
電話　中二二二　中二二二　中三三三
番番番　六七八
店本　神戸市東川崎町一丁目一番地

社會株式會社日華紡織
事務所＝上海江九路四號
電話　中四二五九　中二四九
工場＝東浦
電話　中一九八　中五七五

雜報

●福州事件と上海

▲愚動學生遂に盗賊と化す▲

支那中央政府の威信全く地を拂つて空しき今日、過激派思想に感染せる愚動學生は又復た福州事件に藉口して狂態を演ずるに至りたり、眞に支那を亡ぼすもの愚動學生にあらずして誰ぞ、秦の始皇が儒生を抗にせる確證は實に今日に於て繰返へされつゝありと云ふべし

—排日示威運動—

學生聯合會主催の福州事件に對する示威運動は、十二月二日午後二時より租界外なる西門外の體育場を中心として擧行されたり、參加學生は上海全市に亘る大中小各學校七十餘校の生徒六千餘名にして內一千名は女學生なりき、之れに加ふるに見物のため集合せる民衆五萬餘名と報せられたり體育場に在りて始め學生會會長程學愉は開會の主旨を演說し次いで福建學生代表毛一豐は日本人の福建に於ける行動と題して一場の悲歌慷慨演說をなし、福州事件の解決は日貨を用ひざるに在りと叫ひて降壇したり、畢つて各學生は四列を作りて手に／＼『快殺倭賊』等の激烈なる文句を記したる紙旗を持ち大吉路を出で老西門に入り民國路等を練り歩きたり行列の先頭には各學校の校旗を持ち又各校發行の傳單を散布しつゝありしが中に米國人の在りて指導しつゝありしを見受けたり、其傳單は各種あるが大要左の如きものなりき

▼男學生の分▼

『福建事件は急なり同胞注意せよ諸君は日本人が福建に於て野蠻的行爲を出でたるを知らずや日本人は我が學生を殺し我が軍艦及商人を襲ひ而して現に軍艦を福建に派遣し日本兵は我が同胞を追求するものの如き行爲は之を苦が同胞を國奴扱ひするものにあらずや諸君再思せよ我が中華民國は獨立的國家にして福建は完全な領土なり而して福建人民は是れ亦苦が親愛なる同胞にあらずや然るに日本人が斯る野蠻的行動ふ以て我に臨むは我が同胞の生命財產を脅かすものにあらずして何ぞ、我が同胞よ日本人の此行爲に對して默止せざんか即ち是れ朝鮮人なり以て標榜とするもなり我が同胞にして若し此禍を免れんとすれば日貨の抵制を堅持して永遠に被等と商業上の往來を斷絕するに勝ること無し』

▼女學生の分▼

『貴郎方に先日來の新聞を見ましたか日本は福建方面に於て苦々同胞に對して朝鮮に對すると同樣の手段を用ひてゐるではありませんか日本の軍艦は福建の港に進みました而して其の軍隊は福建城に進入して學生を拿捕し而も軍警を殺害しかくて治安を破壞して亡ぼしたではありませんか貴郎方は朝鮮人同樣の國民となることを希望するのですか若し然らで無いとすれば大に國民的精神を發揮して國民の責任を盡さなくては不可ません』云々

而して該行列は城內各處に於て日貨取扱店に闖入し日貨を掠奪し人力車を雇ひ體育場に引き上げて燒棄てたるか散會せるは午後八時頃なりき其の被害店は左の如し

（一）大東門大碼頭の某米輸出店
（二）老西門　協隆海產物店
（三）萬生橋南　德大順雜貨店
（四）萬生橋南　某雜貨店
（五）九畝地大境路　協順昌雜貨店
晋和祥雜貨店　協豐祥雜貨店
新源順昌兩海產物店
（六）老北門　天益興紙店
（七）名利棧樓下　の某雜貨店
（八）小東門　大昌廣　恒泰
（九）小東門

被害者の商人側は掠奪されし中には日貨にあらざるものもありたれば商會の公斷を要求すべしと敦圍きつゝありしが

—學生會の決議—

上海學生聯合會は二日左の如く決議せり

（一）福州事件の交涉は支那存亡の關鍵なれば國民を激勵するために一日の旗行列のみにては不足なる故に上海全體の學生は水曜日より土曜日まで休校す

（二）水曜日より土曜日の四日間は毎日午前九時より午後四時まで城內、閘北、體育場等にて露天演說をなす

（三）金曜日は永久日貨を輸入せざる旨の誓約書を作り各路商店の記名を要求す

（四）土曜日は各分會隨時の處にて傳單を發し演說をなす

次いで同會は各地學生會に左の如く打電せり

『二日本會は滿行列大會を開きたり集會者萬余人散會の時、日貨百余個を焚きたり人心大に愉快なり又各校四日を決議して露天演說を爲しつゝあり』云々

—太平洋學社の電報—

當地佛租界霞飛路ハオコン里七號の太平洋學社は雜誌『太平洋』及び日本語通信教授錄を出版しつゝあるが本月一日左の如き電報を日本外務大臣に送りたり

此の度貴國の福州に駐在する軍隊が我學生を銃殺し我商民を拷虐したるに對し貴國の北京駐在公使は唯白皆め引かざるのみならず且公然に抗議し此上に又海軍の陸戰隊をして上陸せしめ苦居民を滋擾するが故に全國震動して輿論譁然たり惟ふに貴國は强て青島を强有したるも未だ滿足せず必ず隨時隨地の極端に排支の態度を表示し以て支那全國人民の公憤を激起せざる欲するに非ざる歟貴國は何時も親善を昌言しながらも從來の事實に徵すれば恒に之とも反比例する是我國人民の大ひに惑ひて解せざるものなり誰ぞ支那は欺き易しと謂はんや誰ぞ支那は人なしと謂はん閣下よ願はくば之を三思せよ加之今次の殘害行爲は唯支人のみに加ふるに非ず米國の宣教師にも及びたり試みに思へ歐洲戰爭も亦塞耳維亞皇太子の暗殺ぜられたる導火線とする過ぎざる事を然らば今次の事も必ずしも世界第二大戰の動機と爲るとも敢て斷言せず然る時は米國に於ける二萬圓の飛行機こそ用武の地を得べし獨逸敗衂したる所以前車此にあり閣下よ之れ願念せざる平日支兩國は固より同文同種にして兄弟の國なりと雖も近來貴國當局の不誠解なるを以て動もすれば過分の要求を敢て し之れが爲めにボイコットの風潮起り而も米穀輸出の禁令益々嚴しくなり、斯くて貴國は猶ほ輸出貿易の減退と食糧恐慌の痛苦を顧みず、必ず我國人排日の決心を固くして後已まんと欲する乎、今後貴國の民食は支那に仰給し貴國の商品は中國に於て販路を求めざるも可とすべき乎、然らば貴國の氣を以て人を凌ばんと欲するものは徒らに自殺の政策となるのみ想ふに明達を以て聞ゆる貴國當局は必ず之れに出でざるべし察社は東亞の平和及兩國の邦交を維持する目的より切實に警告せざるを得ず願はくば持使を派遣し兩國の官憲協同して公平に實地に於て調査し軍隊を撤去し損失を賠償し罪魁を懲戒し以て正義を主持して眞實の親善を計るときは兩國人民の幸福なるを同時に亦東亞和局の幸福ならんと思惟す

中華民國八年十二月一日　上海太平洋學社印

日本外務大臣內田康哉閣下

更らに三日附きを以つて又もや日本陸海軍大臣に打電ある所ありたるが電文は略す

—商人と日貨抵制—

（一）高昌廟附近の商人は三日左の如き決議せり

各商店所有の日貨は一般に封存して繕りて國恥の紀念とする後誓つて此種劣貨を仕入れず、若し附近の各店暗に販賣して利を圖るものあれば即ち公敵と爲す云々

（二）南市顧家町一帶の商人も同じく三日日貨を仕入れず國恥を雪ぐと決議せり

（三）四日三馬路の吳服同業者は日本商品を輸入せざらんことを議するため特別臨時大會を開催し福州事件に對應すべく即日より日貨を輸入せざらんことを誓ひ大徐吳服店の輸入にかるる灰色及黑色の絹ボプリンは頗る多くして其の廉價なるを貪りて一尺三十八仙なるを六十仙余を以つて店頭に販賣せり人の該店に赴くは當然なりと云ふべし故に之に輸入販賣を止めんことを勸告すべしと決議せり

（四）佛租界八仙橋の源豐昌雜貨店の出資者兼經理人たる汪醒齋は五月四日の日貨抵制運動以來自ら佛租界商業聯合會を組織し日貨抵制に對して頗る熱心なりしが近頃汪以外の出資者は營業損害の理由にて日貨抵制を續行する能はずと言ひ出し汪始め其他の店員を追出したりたるに該店は四日より暫らく營業を停止したりと云ふ

（五）上海學生聯合會　は楊樹浦紡織業の有力者程藕初に宛て大要左の如き手紙を送りたり、『藕初先生は先年英國より歸國して以來、棉業に對して盡力せらるゝこと余力を遺さず實に實業界の泰斗たるに疑信する次第なり、然るに最近棉業同業者の消息によれば生平日の論と符合せざるものあり、即ち山東問題發生以來我國人は日本人の無理要求に憤激して極力日貨抵制の運動中なるも先生經營の工場には依然として日本人と取引きつゝありと云ふ其由通商は固より合法行爲なれども小利を貪りて大富を忘るゝことは明哲の爲さざる

品質精撰

●醫療用藥品●　●醫療用器械●
●醫療用繃帶材料●　●理化學用藥品●
●工業用藥品●　●玻璃藥瓶各種●
●諸大家賣藥各種●　●美容化粧品各種●

廉價販賣

諸大醫御處方調劑處
濟生堂大藥房
上海文路西華德路
電話北二一二七

▲朝鮮總督府賣藥局所管▲
高麗參丸
朝鮮人參の精粹
使用に至便
携帶に至便
本劑は朝鮮人參のエキスと人參の粉末を混和調製せり
▼其形細粒効力頗る强大
事務家、旅行者、日常の携帶、使用に良し
百粒入（六日分）大洋七角
五十粒入（三日分）大洋四角
小瓶
▼到る處の有名藥店に販賣す▼

SHANGHAI OIL & TALLOW INDUSTRIAL Co., Ltd.
上海油脂工業株式會社
支那行名　瑞寶洋行
上海河南路七號
電話北中二五九五三四五

機械、材料、文房具販賣
營業課目
各種石鹼
倔利設林
油脂精製

印刷、製本及紙器製造
（オフセット）……カレンダー・ポスター・株券・小切手
（石版）……レツテル・帶紙・商品券・カタログ
（活版）……諸會社用書類・レタ・ペーパー・名刺
（紙器）……煙草函・各種サツク・ショーカード
（ジンク版）（凸版）（凹版）（銅版彫刻）
Shanghai Press, Ltd.
上海印刷株式會社
赫而克司路三十三號
電話北一二九六一五〇二

ミなり、世に金錢に較べて最も重きものは愛國心是れなり今、日本人と取引するは是れ盜賊に糧を與ゆると一般なり況んや福州事件發生したる今日に於てをや、先生若し日本人と取引せざる確證あればそれを示して疑を釋かれよ云々

―其他の雜聞―

▼各路商界總聯合會　各路商界聯合會は三日北京政府に打電して云く

「前略、本會は國民と交際を斷絶したる外並びに左の如き方法を議決したり、事國權民命に關す萬議歩する勿れ

(一)福建日本領事の更迭(二)關係日本人を嚴懲す(三)負傷者に慰藉金死者に賠償金を要求す(四)日本政府は我國に向つて謝罪すべし」

▼上海日貨抵制委員會　上海學生聯合會は四日特緊急會議を開き上海日貨抵制委員會の組織方法を討議したが該會より本市各公團商團等へ通告し一致共同して組織すると決したり

▼學生に罰金　三日學生王德文六名は徐家滙の同益祥雜貨店にて日貨の有無を檢査中巡捕に發見され拘引されたり四日佛租界會審衙門にて裁判の結果罰金五元宛に處せられたり

▼各界聯合會各友邦に宣告す　當地の中華民國全國各界聯合會は十二月一日附きを以つて左の如き條項を各友邦に通告せり

(一)歐州戰亂以來日支間一切の不平等條約を取消す

(二)前きに獨逸の山東に有せし一切權利は直接支邦に回收す

(三)對獨墺和條約は一百五十六―一百五十八の三條を除く外は承認す

(四)合法國會が完全に其の職權を行使する能はざる以前に於ては各友邦は軍器金錢等を南北政府に供給する勿れ並びに關稅鹽稅剩余金の交付を停止すべし

▼支那當局へ通告　松滬護軍使署は交涉公署より三日左の如き公函に接したり

日本領事館よりの電話によれば支那界の大源號に學生多勢來りて該店の日貨を掠奪せんとしたるが該日貨は大倉洋行の品物なれば保護せられたし茲に通知す

▼恐なる支那新聞の報道によれば近來上海に左の語言ありと云ふ

最近日本浪人の來滬するもの殊に多し某方面及び虹口警察は福州の事件に鑒み該浪人が再び衝突事件を惹起する恐れて四洋人支那人の巡査を增加して警重に警防しつゝあり

▼全國各界聯合會　全國各界聯合會は三日附けを以て各省督軍省長各艦隊各師旅團長及各軍人に宛て『兵を養ふ千日用は一朝に在り』との語を引き日本と戰はずんばあらず諸君奮起せよとの長文の公函を送りたり（長文に就き翌頁）

次いで左の如く打電せり

(一)福建李厚基督軍兇、福州事件は國權を凌虐すること極れり君は支那人なり能く痛心することなきや即ち日本に向つて嚴重なる交涉なさず却つて學生聯合會と學生週刊を封禁して福建人の喉舌を箝制し日本に媚ぶ君は支那官吏ならずや今支那亡國なる云ふ時、朝鮮の末路寒心すべきものなきや君夫れ鑒よ。

(二)各地各界聯合會　學生會等宛福州事件は重大なる福建の官吏は學生會と學生週刊を封禁せり一致反抗せんことを望む

(三)廣東國會宛　福建の官吏は人民に向つて威力を示し日本に媚びることなく唱導す貴兩院は國民の病苦を代表す一致反抗を望む以つて國權を擁護せば國民幸甚なり

▼其他の電報　其他各團體の電報は上記と大同小異なれば省略す

―福州に事件關する―

李厚基の復電

日本人の學生傷害の事件は何等の原因もなくして兇行したるものなり、該案發生後日本領事に交涉署に公文を送附して曰く十一月十六日午後學生團は父々天田洋行の商品を強制押取したるが卒に重大事件を惹起せりと意ふに天田洋行は南台大橋の南にあり肇事の場所は橋北なりと、而して學生が押取したりと云ふ商品は何地に於て何種の商品を押取したるか均しく一々叙明するを能はざるあらずや是等の言は要するに事後に於て虛構したるものなるは明かなり、且つ學生暨宜等の負傷したる場所は一ヶ處に於てなしたるに非ず、倉前山より橋を過ぎ大義道に於て擊たれたるものにして衆合者の多數が兇器を携へたるに徴し、預め用意ありたるは明かなり、該時警察廳が取押へたる鉄二刀一、及支那服を纏ひて鉄を携へたるもの一人は均しく現場に於て取押へ、日本領事館に送附したるものに徴し事前に備ふる所ありたりと、尚ほ當時一米國人が路傍に於て學生を救護中擊たれたるものあり、英、米領事も亦均しく日本が故なく事を起したるものと認め其旨北京に打電せり、重傷者は武裝巡警史孝堯が胸腹に四彈を受けたると海軍學生劉祥開が腿部を擊たれて骨を骨折したると商人朱任方なるものが背部に貫通銃傷を受けたる等以上三人は何れも人事不省なるが此外學生鄭學靈、劉鍾祯等が刀棍棒の類にて重傷を負へり、其他官憲に於て檢視したる負傷者の數合計十名、尚ほ學生亞玉倉なるものの米國に留學せんとして負傷したるため一時人事不省に陷入りたるため携帶の白銀紙幣一千元を奪ひ去られ順記洋菜館に關スたれ物品を壞たれた損害三千餘元、而して現在も尚ほ日本人及台灣人は台南地方にありて故意に椅子敎會學校等の門前に集合しつゝあり軍艦嵯峨は徒手の水兵の上陸を許せり

▼商人の苦狀　悲動學生は五日も同じく閘北南市等の商店を掠奪し廻りたるが最も面白きは商人等は交るゝ々の學生檢査の煩に堪へず學生會に左の如き手紙を送りたり

再三再四の檢査は煩剩に勝へず亦營業に妨害あれば某學校學の生檢査の後はマークを打ちて以後檢査する煩を免れしめず云々と

▼學生は假名賣は亂黨　五日西門外斜橋、上海總商會會長朱葆三の邸宅に學生多勢押し寄せガラス窓等を打ち壞して亂暴せり

又南門外の上海縣商會會長顧馨一は大正米行の支配人なるが同じく學生押し寄せて願の宅に十二月四日附を以つて左の如き貼紙をなしたり

「賣國奸商顧馨一」「喪盡天良南會長」更らに學生共は一週間以内に大正米行を閉店せざれば相當處分すべしと嚇しつゝあり

▼學生聯合會の決議　學生聯合會總會は五日理事會を開き左の如き三項を決議したり

(一)北京政府に福建督軍李厚基の免職を請ふこと

(二)福建學生會に實力軍動を爲せと打電すること

(三)各地學生の一致應援を要求すること

▼江蘇省教育會の注告　江蘇省教育會は學生に忠告して云く

福州事件發生以來各學校の青年、亡國の慘狀を痛むの余り大いに抵制を圖りつゝあるが此種の救國運動は惟た學生のみにあらず即ち商界も亦同意を表せり、故に目貨調査の際は如何に憤慨しつゝありと雖も宜しく愼重なる態度を取りて鄭重なる手續きをせよ云々

―福建人の大會―

在上海の福建人は四日四馬に路三山館に在りて大會を開き例の自稱女志士劉清揚を始め多勢の悲歌慷慨の演說ありたるが遂に左の如く決定せり

(一)日本は東亞の平和を破壞せる意あることを外に對して宣言すつゝあり

(二)米國人は我國法權の下に日本人より毆傷せられたるが米國總領事に向つて吾國は保護の責めを盡くす能はざることを通告す

(三)日本人と經濟關係を斷絶す

(四)北京公使團に日本人の在福建暴行の情況を打電して各國の正義を主持することを清ふ

(五)代表を擧げて各國駐在上海領事に面會し支那の民意を各國公使に轉達することを請ふ

(六)在上海福建人の各界聯合會を組織す次きに福建督軍李厚基に次の如く打電せり「本日上海の福建人は大會を開きて決議したる督軍が封禁せられし福建學生聯合會及學生週報を民意に順つて即日許可せられたし云々」

▲支那警察の態度斯くの如し

松滬警察廳長徐國樑は四日各區署の巡査探偵等を召集して左の如き訓示を與へたり

學生は隊を組みて露天演說と目貨檢査を行ひつゝあるが之れは熱心なる愛國行爲なり故に學生が各商店に入りて目貨を押收せんとした時は宜しく善言を以つて訓諭すべし該商店の目貨も亦資本を出して仕入れたるものなればなり然しながら若し學生聽かざれば其の爲すまゝにして可なり最も注意すべきは時節柄盜賊が學生に混入して掠奪を行ふことなり學生には溫和手段を執れ云々

●市民權要求運動

▲列國共同監政の▼試驗場たるを恐る▼

本市工部局市參事會議員の改選期が目前に迫り來ると同時に本市支那商人は租界現行の土地規則を改修して、該議員に支那人二名を加入せしめんとする運動を始めたり、實は本年六月頃より着々運動し之れがため各路商界總聯合會なるものを結び又「修正洋涇浜北首租界章程草案」なるものを作り、次いで租界內の各支那商人より請願書に記名調印を徵求しつゝありたるが愈々先月二十九日請

MOGI & Co.

茂木合名會社上海支店

上海英界エヅラ路第四號
（江西路エヅラ新築建物內）
支店長室　三四一七
生糸係　三二二五
綿糸倉庫係　三六〇五
庶糸布係　四〇九九
雜貨係　二二三
計算係　六九九九
電話務庶　四三七三

本店　横濱
東京、大阪、神戸、紐育、倫敦、里昂、孟買、シドニー、天津、漢口、青島、新嘉坡、カルカタ
支店及出張所

SHIBAKAWA & Co. Ltd.

株式會社芝川商店上海支店

S.S.

芝川洋行

上海漢口路五號
電話二九九五號

營業種目
蠶絲綿紗棉花布疋雜糧
其他各項大宗進出口貿

本店　大阪
支店　東京、横濱、神戸、名古屋、倫敦、紐育、漢口

THE ORIENTAL TRANSPORTATION & TRADING Co., Ltd.

東亞通商株式會社

上海九江路六號

電話
中央
一二二一
二二三一
社宅
二〇八〇
北人
上支住
二〇一六
北宅

（支店及出張所）
東京、大阪、神戸、紐育、長崎、若松、大連、蕪湖、漢口

本店
支店
出張所
橫濱市南仲通三丁目
東京名古屋、大阪、下關、神戸、長崎、紐育、倫敦、巴里、孟買、シドニー、天津、漢口、打狗、尼剌、蘭領、蕪湖、嘉興、谷陀、

安部洋行

上海福州路三號

電話
事務所　中一二七三六
中一〇〇四〇
中一八八〇五
宅住　西九七六

營業品目
砂糖、雜穀、肥料、綿花、棉糸布、支那藥、麥粉、其他

增田屋　安部幸兵衛上海支店

願書は完了したれば本月一日總聯合會の幹部連四十四人は自働車十六台に分乘し靜安寺路の江蘇派交渉公署に出頭し、該草案及請願書四通を楊交渉員に交付して領事團に轉達することを依賴したり、當日は上海全市の支那商民は各店頭に『華人要求市民權』『修改洋涇浜章程』なる文字を染めぬきたる旗を掲げたり

該會の李幹事は語りて云く「吾々支那商人には利のみを目的とする時代が過ぎ民族的に大いに覺醒する時期が來れり、吾々は上海に稅金を拂つて住居せる以上、工部局は當然市民權を與ふべきなり云々」と次ぎに該會は一日附きを以つて北京外交部農商部、及び南京督軍省長宛大要左の如き電報を送りたり

本日本會代表は全市各公團各商店の記名調印せる洋涇浜章程修改草案を交渉公署に送りて領事團に交附すべく其の手續を終りたり、全市は一律市民權要求の旗を掲げ萬衆一心以つて目的を達せざれは止まず謹んで上聞す

右市參事會要求につき支那人側には贊成するものと反對するものとの二派ありと云ふ前者は上海を自治團體として市民權を得て完全なる工部局を建設する必要上贊成するに在りて後者は市民權要求は上海は支那を列國共同監政の下に置くべき試驗場たらしむる前兆となる恐れありと反對せざるべからずと云ふに在り尚ほ右問題につき米人側は極力支那の運動に助勢し籍りて土地所有者名義人を米國の手に入れんとしつゝありと云ひ英人に至りては若し市民權を與ふれば必ず土地所有者名義人の英國を脫するに至り英人勢力に多大の影響を受くるを恐れ、市參事會員に代ゆるに支那顧問員を以てせんとする考へなりと云ふ、要するに市民權運動は政治意味を含み、各北京當局間接に利用し、上海に於て事を滋くし、英の西藏問題に對する牽制策を語れるものにあらざるかと揣摩するものあり果して眞なるや未だ知るべからざるなり

●山東保留案問題

▼各團體の感謝電　中華民國學生聯合會、上海學生聯合會、上海各界聯合會、女界聯合會、留日學生泣懇救國團、中華女子救國團等は十一月三十日米國上院並びに北京各公使舊國會等に左の如き通電を發したり

（一）米國上院宛　貴院は山東保留案を通過して公理を尊重せられたり敵國人民は感佩に堪ゆるなし

（二）北京各公使宛　米國上院は山東保留案を議決して正誼を主張す敵國人民は深く欽佩せり貴國は夙に公理を重んじ同情を表せられたり敢て請ふ貴國政府に轉電し一致公道を主張せられんことを感禱に任ゆるなし

（三）廣東國會宛　對獨媾和條約第一百五十六—一百五十八條の規定會に電達せよ

▼各團體の感謝電　江蘇省教育會、上海總商會、上海縣教育會、上海縣商會、寰球中國學生會、中華職業教育社、上海青年會、上海學生聯合會、上海商業公團聯合會、上海學生聯合會上海救火聯合會等の十三團體は北京米國公使に左の如く打電したり

貴國上院は山東保留案を通過したり敵國人民は貴國の公道を主持せらるゝことを深く信じて感佩に堪へず謹んで謝意を表す請ふ貴國上院に轉達せられよ

▲山東問題を忘るゝ勿れ　上海學生聯合會は四日各分會に左の如き通知を發せり

福州事件の交涉は已に全國人の注意を引きて抗爭餘力を遺さず然しながら同時に山東問題を忘るべからず蓋し日本人は狡謀百出我國人が福州事件に熱注せるを籍りて暗に北京政府と山東問題の談判を開始すべし吾人は嚴重に監視せずんばあらず故に各分會は露天演說の時に於て福州事件と同時に山東問題をも演說すべし以つて日本人が隙に乘じて其の詭計を施すに余地なからしめよ至要々々

●和議近訊

▲王揖唐と分代表　北方總代表王揖唐は最近北方各分代表に打電して云く

唐紹儀は陸榮廷の密電を得てより先日來の態度は極めて溫和し南方分代表も亦將さに上海に飯へらんとしつゝあり茲に於てか和議は頗る轉圜の望みありと云ふべし我が北方分代表諸君は公事を以つて北上したる者甚だ多きが和議の共同進行を期するため迅速に上海に飯へられたし云々

▲上海商人と和議　中美通信社の通信によれば上海商人虞洽卿等は前きに政府に宛て和議開催を促す電報を送りたるが最近斬雲鵬は左の如く返電したり

諸君憂時の念には感佩殊に深し余は就職以來屢々而南に打電して和平を要求しつゝあるも其解決方法に至りては良策なし諸君は今後至誠を開きて各方面に疏通せれたし云々

▲和平聯合會の內訌　全國和平聯合會の內訌は已に久しきものなるが今回京師總商會兼青島商會の代表安迪生二十九聯名にて左の如き通告を發したり

（一）彭解、謝石欽二名は九月二十七日除名せり

（二）各省區より的消息によれば本會の名義にて李傑等五名を除名したる電報發せられたる由なるがそは彭等の爲せる業なり

（三）各省區法團は本會より代表撤回の通電に接したる由なるが之も上記に同じ

（四）上海和平新聞に本會新選職員の姓名登載されたるが本會は關係なし

（五）本會は和議停頓によりて十月一日より休會せり休會中の電報者しありとせば人の揑造せるものなれば經信する勿れ

●支那勞働者の罷業續報

▲鋏業職人の罷業　本市（城內共に）鋏製造店は一百余軒ありて職人は一千余人あり近來物價騰貴により生活困難なりとて連日各職人會議の結果屋主に賃銀値上げを要求しつゝありしに屋主側に不景氣なりとの口實の下に之れを拒絕したり茲に於て各職人は十一月二十五日より罷業したり該職人の賃銀は原と鋏一本七十文にして食事は屋主側持ちなりしが市上の不景氣によりて雇主側に於ては一本五十文とし朝飯を減じたい、然るに職工は原狀恢復を要求したるも人ありて雙方に向つて仲裁したる結果一本五十七文に値上し落着したり

▲浦東裁縫業の賃銀增給　浦東の裁縫業は洋涇鎭の洋涇港を以て境界とし南方が分立しつゝあり今回該兩組合は物價騰貴により職人の困難なる故察して東組合は一日二百文なりしを二百六十文に西組合は一日二百四十文なりしを二百六十文にそれ〳〵增給したり

▲列車ボーイの罷業　滬寧鐵道列車ボーイは陳某と云ふ西洋料理人が請負人なるが近頃陳某は請負費を該ボーイに割宛てんとしたるよりボーイ共は大いに驚き『我等の收入は乘客の心づけに由るものにして只さへ生活困難なるに割宛ては不穩當なり』とて三十日より罷業したりと云ふ然るに陳某は別にボーイを雇ふべしと嘯きつゝありと云ふ

▲運米船船夫の要求　南市運米船夫の賃銀値上げ要求は既報の如し其後該船は尙ほ內地に行きて歸らざるが故に一致する能はず故に近頃事務所を設けて一人前二角づゝの會費を徵集

文苑

病中有作　山田岳陽

浩歌猛虎行。空齋誰傾聽。蹴跚跳梁屋。租更窺門庭。慷慨志未酬。居諸類壯齡。斗米已堪擲。腐鼠何勞形。昂昂秋晏鶴。雲邊拂雙翎。嗒然天地間。羽衣自泠泠。更闌忽破夢。風雨侵窓靈。檠我思古人。何必歎零丁。獨坐看寶劍。雄心滿西溟。

上海黃浦路三十一號
伊藤商行
電話北一五九〇
支店及出張所
漢口　九江　香港　廣東
台北　京城
大阪　東京

諸藥品、織機
絹綿布、雜貨
輸出入貿易
上海河南路八號
株式會社東亞公司
電話中央（一七三四　四一二六）
本店　東京
支店　大阪

砂糖、麵粉、雜穀、肥料、木材、金屬、機械、鑛石、藥品、食糧品、海產物、塗料、油類、絹綿糸布、雜貨及船舶、

MASUDA TRADING Co., Ltd.
本社、日本橫濱市
上海江西路拾九號
增田洋行
增田貿易株式會社
上海支店
支店及出張所
神戶、東京、大阪、名古屋
下關、小樽、釜山、大連、
天津、漢口、ロンドン、シドニー、メルボルン、カルカッタ、新嘉坡

新利洋行
上海江西路八號
電話中央三六五八
三六六六
本店　大阪
業務　輸出入
支店及出張所　東京、上海、漢口
宜昌、廣東、四川
重慶、成都、其他

し全部の運米船師港を待つて一致して船主に要求すべしと

▲工界志成會の電報　工界志成會は一日附けを以て北京政府に打電したが其内容はワシントンの勞働會議に代表を派すべしとて答子の論や孟子の語を引きたる長文のものなりきと

▲藥屋店員の要求　本市藥屋店員の賃銀値上要求は既報の如し三日雇主側二十人と店員側數十人と雙方赤面の末に在りて臨時大會を開き各種意見の疏通を圖りたる結果、店員より總代表一人を擧げて店主側と商議するに決したり

▲雕物職工の要求　南北兩市の家具雕物業職工は六七百人あるが賃銀三割方値上を要求しつゝあり、三日雇主と相談し一割値上を承諾せるも未だ解決せず

●全國工界協進會の內幕

本市木工機器職工（大工と機械職工）の李楊梁等三十余人は神州日報に投書して曰く『中華全國工界協進會（勞働會）は創立したる當時は可なりしも今日に至りて內容は腐敗紊亂して言ふに堪へず會員の會費は該幹事連の私腹を肥やさせたり而も該會は不公平と腐敗の情形を以て新聞に職員の選擧を廣告したるが數千人の會員會費及特別寄附金等は一切報告せず誠に恨むべきなり更に驚くべき三四分の重量ある半銅半銀の徽章を會員に銀三十仙を以て賣り付けんとすることなり吾等貧苦者は世に之を訴ふ請ふ公道を主持する人は該會を注意せよ云々』

記者曰　該會が大會成立を開きたる時に三十仙の會費を以て職工に孫文學說を配布したることありて世人の注目を引けるが今又勞働者の苦情現はる惡政客に利用されつゝある支那勞働者や憐むべし

●上海縣商會長問題　上海縣商會正會長顧馨一は突然辭職を申出でたり願は正大米行の店主にて其の辭職原因は該店が學生のために排斥されしに由るものなりと噂させらる、又該會長蘇筠尙死去につき四日選擧の結果朱吟江當選したりと云ふ

●交涉公署と孔教　江蘇省交涉公署は十一月三十日午後二時より本市各方面の有力者を招待して孔子會堂建設の事を相談したるが集合者孔教を提唱せずんはあらず云々

徐紹楨云く　君臣の二字に對して頗る解釋多しされど君臣の關係を論じて孔子に反對する者は迷信少からず

會合

十一月二十六日
任東三省巡閱使公署秘書長　張厚穀
晉給二等文虎章　王永江
晉給二等大綬嘉禾章　趙炯麟
晉給二等嘉禾章　王文典
晉給二等嘉禾章　姜可鈇、林義順、王文典
十一月二十九日
任東三省巡閱使公署秘書長　劉錫鈴
晉給二等文虎章　アフアクセウ
任農商部司長　林大閩
十二月一日
○外蒙自治取消善後諸事務は端緒紛繁なり徐樹錚に命じて責任を負はしむべく西北籌邊使及、外蒙督辦善後事宜とし原設せる辦事大員佐理は一律裁撤す、如何に別に官制を定むるかは國務院と各主管機關と妥當に計畫すべし其末だ發布せられざる以前は庫倫辦事大員公署を籌邊使公署に併合し其佐理各員は均しく暫時各該區域に留め、籌邊使の辦理を承くべし
十二月二日
○前に曾つて令して外蒙古翊善輔化博克多哲布尊丹呼圖克圖汗に加封したが茲に特に徐樹錚を派して冊封專使に任じ恩華李垣を副使に任ず此に令を訴ふ請ふ公道を主持する人は該會を注意せよ云々

記者曰　該會が大會成立を開きたる時に三十仙の會費を以て職工に孫文學說を配布したることありて世人の注目を引けるが今又勞働者の苦情現はる惡政客に利用されつゝある支那勞働者や憐むべし

●上海縣商會長問題　上海縣商會正會長顧馨一は突然辭職を申出でたり願は正大米行の店主にて其の辭職原因は該店が學生のために排斥されしに由るものなりと噂させらる、又該會長蘇筠尙死去につき四日選擧の結果朱吟江當選したりと云ふ

●交涉公署と孔教　江蘇省交涉公署は十一月三十日午後二時より本市各方面の有力者を招待して孔子會堂建設の事を相談したるが集合者

任吉林財政廳廳長　齊耀琳
任吉林濱江道道尹　董士恩
任直隸督軍公署參謀長　趙玉珂
十二月三日
任外交總長　陸徵祥
任內務總長　張謇商總長
任財政總長　李思浩
任海軍總長　靳雲鵬
任司法總長　薩鎮冰
任交通總長　朱深
任內務次長　何燧
任財政次長　潘復
任教育次長　傅嶽棻
任交通次長　姚國楨
部務代理生命　傅嶽棻
任內務制局總裁　周自齊
晉給二等大綬寶光嘉禾章　阿穆爾鞏泰
晉給二等大綬嘉禾章　衛興武、湯中

陳煥章博士は「孔子の道と今日の支那との關係」を說明せり

●全國各界聯合會と天津タイムス　天津警察廳の丁麟德は天津タイムス報が捏造記事を掲げたるを以つて天津英國總領事に該報の總理熊少豪を訴へたり……當地の全國各界聯合會は二十九日此問題に對して北京英國公使天津英國總領事宛てに大要左の如く打電したり

天津警察廳長楊以德は人民を殘虐する者にして其罪惡は國民共に知る處たり而して遂に彼の屬吏丁麟德をして今回の訴訟を提出せしめたり、タイムス報の主張は公明正大なるものにして我國人の共に歡迎する所たり、況んや一般の天津騷動は楊以德が擅生を逮捕せしために惹起されたるものなり楊以德一日平息する能はず請ふ貴公使領事は我國の民意を尊重して速に彼の辭職を以つて殘民官吏のために朦惑する所となりて正義の記者を寃誣の罪に陷す勿れ云々

●通關業の會議　本市海關は前きに通關業者に十二月一日より輸出各貨物の申告書に價格等を嚴重に記入すべしと訓令したり、之れにより通關業者は此項の問題に我等同業に對して通關業者は非常に繁瑣にして且つ同業全體の同意を徵集すべしとて代表五人を擧げて其意見を取りたるに皆反對したり次いで總商會に依賴して取消方を海關當局に請願したに當局はタイプライタを使用せば繁瑣にあらず取消すことは許さずとありたれば該同業四十余人は四日南北市報關公所に在て此問題を討議したり其結果各客筋の意見を徵集して再び最後の方法を討議するに決したり

●當地銀相場　當地銀相場は七錢六分に早り各商何れも影響を受けたるが各銀行錢莊は極力各處に向つて銀を要求し上海に持ち來り更らに造廠局に行電し鑄造方を要求したれば七錢四分內外に下落したり其內又大口の銀塊の輸入あるべく其際は七錢三分の相場に下落すべしと推せらる

●造幣分廠の設立　上海銀行公會の請願部より許可され其設立費は南京造幣廠の剩余金を以つて充てらるべしと云ふ

●山西省の紡織工場　山西省督軍閻錫山は山西省に紡織工場を設立せんとして其の設計を當地の恒豐紡織會社の聶雲台に依賴したり聶は前週の火曜日に山西に向つて出發したり

●特許權問題　中華工商研究會は前きに農商部宛て「新聞によれば政府は特許權を廢止すると云ふが若し該權を廢止せば支那の工業發達に影響あり」との旨を通電したるが最近農商部二五一號の訓令に接したり其內容は貴會の通電は一切誤解にして政府には該權廢止の念なしと云ふにありき

●米商會大會開かん　本市米國商業會議所は支那各地の商業會議所代表を招待して明年正月大會を開き極東の商務問題を討議すべしと云ふ

●朝鮮の輸入稅問題　中華國貨維持會は三日左の如き通告を發したり

鮮幫公會等の來函によれば朝鮮輸入稅は四割增稅さるべしと云ふ然れば今後我國各貨物の販路は朝鮮に跡を絕つべし前きに我國が增稅を商議したる際各國は皆贊成したるも日本のみ獨り贊成ざりき我國は隣邦の友誼を顧みて讓步したり今朝鮮の例も日本は宜しく友誼を顧みて取消さずんばあらず現に國務總理は日本に向つて抗議を提出すべしと云ふ本會は來る七日大會を開きて此れが對應策を討議すべし云々

●稅務一束

▼支那茶內地稅　輸出支那茶稅減稅の件は本市茶業會館より農商部に請願して許可されたるが、今回又もや輸出支那茶の內地稅風の減稅の件を該館より農商部に請願したる所最近農商部より財政部に該請願の件は廻されたる旨當地に達示ありたり

▼租界收入印紙稅　本市租界內支那商人收入印紙貼用の問題は總商會より農商部に撤回を請願中なりしが最近北京よりの消息によれば該問題は當分實行ざるべしと

▼靴下工場減稅を請ふ　新華公記靴下工場より靴下を棉貨稅則に照らして稅減せられんいとを請願中なりしが最近農商部より許可せざる旨達示ありたり

●世界の銀產額に就て（倫敦タイムス所載）

墨哥西、合衆國及加奈陀は謂ふ迄もなく世界の最大銀產國にして世界產銀額の減少の重なる原因は是等の

E. KODAMA & Co.

兒玉貿易商行
上海英租界泗涇路第八號
電話壹八〇三

營業種目
屋料、羊毛、豚毛、油脂、晒粉、タイヤー類、護謨製品、毛糸、車輛、機器其他一般輸出入品

EI-KWA & CO.

瀛華洋行
上海江西路十八號
電話中央一三〇九

取扱商品
雜穀肥料製油原料
其他一般輸出業

C. ITOH & Co.

紅伊藤洋行
伊藤忠商事株式會社上海支店
上海漢口路五號
電話
營業部 席三三九九八八
雜貨部 席三四三四〇
營業部 辦事處 三三七七八〇
夜間 宿舍 一八五一

營業種目
●輸入　綿糸、綿布、雜貨、金屬機械、染料
●輸出　綿花、雜穀、肥料、油脂麻、絹綿麻布、五金

M
江商株式會社上海支店
上海四川路五十五號
電話 中二二二〇 人事部 中二二二九 計劃部 中二四二九 支配渡賬
本店 大阪
支店 東京、橫濱、神戶、天津、青島、漢口、大連、香港、馬尼刺、甲谷他、紐育、倫敦、孟買、甲谷陀、紐育、ボーチン、フォートウオース、ヤトシル

取扱品
棉花
綿糸
綿布
生糸

國の產出減少にして一九一一年墨國より八千七百萬オンスの輸出は一九一六年三千八百萬オンスに大減少せしに因るものにして合衆國の產出は戰時中一ケ年平均七千四百萬オンスを產出し來りしも是とて一九一四年迄年々增加し來りしが如き著しき產出增加を見る能はざりしなり而して加奈陀の銀產額は一九一一年の三千二百萬オンスより一九一七年には二千二百萬オンスに減少し更に濠洲は世界第四位の銀產國なりしが是又一九一一年の一千七百萬オンスより一九一六年には四百萬オンスを超ゆる僅かなる產出に止めたり

而して銀相場の奔騰は先づ第一に必要なる諸物價が其減少に因りて益昂騰しつゝある原因に歸せずんばあらず然して各種方面の銀需要增加によりて補給されたるもの亦不尠、英國帝室造幣局は戰時中異常にして且額の補助銀貨の鑄造を續行し其他歐洲各國共銀貨の鑄造は戰時中何れも銀の吸收を計り其需要を增加し頗る好況の地位に在り平時に於て印度は銀貨鑄造用個人其他の裝飾用及蓄積用として一ケ年七千オンスの銀を吸收し一度吸收されたる銀は決して世界市場に現はるゝ事なし過去二ケ年間印度政府の銀貨鑄造高は常規以上の巨額に達せり、而して合衆國は貨幣鑄造用及工業用若しくは裝飾用として消費するもの亦巨額に上ると雖も其輸出も亦年々增加しをる

を示すものにして次の表に掲ぐる所は一九一八年に至る五ケ年間合衆國より輸出せる銀の增加比較表なり

	上半期間
一九一四年	三二、三五六、〇〇〇弗
一九一五年 同	四四、九七七、〇〇〇
一九一六年 同	五三、一二一、〇〇〇
一九一七年 同	一三九、八二一、〇〇〇
一九一八年 同	一二、〇一一、〇〇〇

合衆國は此銀貯藏の大減少に對しては疑もなく近き將來に於て補給せらるべく其需要增加は銀價額の高価を維持すべきなり、銀相場を高からしむる所の銀の供給不足は活動寫眞業の發達に連れフヰルム製造の附隨に使用せらるゝもの著しき額に上れるにもよれり過去數年來銀の產出を減少せしめたる原因は主として基礎金屬の價格の暴騰に因らずんばあらず蓋し多くの場合に於て礦業會社は基礎金屬採掘增加の副產物として銀の產出を圖り他の採掘せる鑛物中に含有せる銀を採るに過ぎず、オンタリオの鑛山の如き他の鑛山の如き銀鑛を含む事少きも比較的多く銀を含む所なり、而して世界の產銀額の約三分の二は鉛鑛、銅鑛、亞鉛鑛の鑛物中に含有されたる銀鑛石中より得らるゝものなるを知るべく而も單に銀鑛のみの採掘としては甚多からず決して十分なる供給を得られざるなり故に鉛、亞鉛等の金屬の價格に

新刊紹介

●ゼ、ノース、チャイナ　スタンダード

時事新報北京特派員たりし暨澤氏は、支那通として名ありしが、今回北京に於て本年九月一日ゼ、ノース、チャイナ、スタンダード、漢名華北正報の日刊英字新聞を創刊せり、全紙八頁にして體裁整備し記事亦豈當なるが我邦人より英字紙の北京に出現せることは、誠に慶賀の至りなり大にスタンダード社の健全なる發展を祈る

●上海案內（第八版）

島津四十起氏の編纂に係る上海案內第八版は出でたり、內容版毎に改良され殊に今回の第八版は充實し、上海の事情、交通、公共事業、官公所其他、邦人案內、內河航路、鐵道等あゆる物を網羅し、上海居留者は勿論支那を說くもの〻必携すべき良案內書なり、島津氏の勞を謝す

發行所　上海北四川路長安里二號金風社
定價　銀二弗

減少せしめたる原因は主として基礎金屬の價格の暴騰に因らずんばあらず蓋し多くの場合に於て礦業會社は基礎金屬採掘增加の副產物として銀の產出を圖り他の採掘せる鑛物中に含有せる銀を採るに過ぎず、オンタリオの鑛山の如き他の鑛山の如き銀鑛を含む事少きも比較的多く銀を含む所なり、而して世界の產銀額の約三分の二は鉛鑛、銅鑛、亞鉛鑛の鑛物中に含有されたる銀鑛石中より得らるゝものなるを知るべく而も單に銀鑛のみの採掘としては甚多からず決して十分なる供給を得られざるなり故に鉛、亞鉛等の金屬の價格に

られたりオンタリオに於ける一ケ年の產銀額は約二千萬オンスに達す、英領コロンビアに於ける昨年度の銀產額は總計三、四九八、一七二オンスにして約五十萬オンス以上の增加に上れり最近に於て最高產額は一九一四年の三、六〇二、一八〇オンスなり其內銀鑛產額の約七割五分は銀鉛亞鉛の鑛石より得たるものにして殘額二割五分は主として銀を含有する金銅鑛を鎔離して得たるものなりスキーナ河よりの銀輸出は今後益々增加するに至るべし

次に濠洲の銀產出の中心は「ニューサウス、ウエールス」の「プロークン、ヒル」及「タスマニア」の「ジーハン」なり、戰前「ニュー、サウス、ウエールス」の銀產額は平均一千四百萬純オンスに達し居りしも、戰時是等鑛業に從事せる者が軍隊に編入し紛擾起りし結果、其產額は一九一七年に於て九百五十萬オンス以下に減少せり、然れども是等銀產出額の數字は實際同國の產銀額のみを示すものとは言ひ難し、何となれば是等の銀は輸出中心地に集まれる銀の高をも包含すればなり、故に「ニュー、サウス、ウエールス」に於て同州の銀亞鉛より採掘せる銀の額は一九一七年に於て一百七十八萬二千〇四オンスにして、是等集散地の銀輸出高は七五八、一二九オンス之を開戰一年ざるを以て價格の低落は望み難し、前の一九一三年の產出に比し同州產出合計九、三六二、一三三オンスなり、タスマニアの銀鑛中ジーハン鑛山は最近尙稼行中にて第三位を占めたりしが、一九一七年のマグネット鑛山の產出額は遙に「ジーハン」鑛山の產額に於て第三位を占むるに至れり、次には「クインスランド」の產銀額は一九一七年に二四一、六三二九オンスなり、而して「クインスランド」の重要なる金鑛の多くも亦銀を產するも銀鑛としては稍重要視せられざるなり

南亞弗利加に於ては銀鑛と稱するに足るものなきも一九一七年中產出の金塊中に含まれたる銀の產出高は金塊の重さの約一割にして即九十三萬八千百四十六純オンスなり銀を含めるに銅鑛の鑛脈の二ケ所は曾て採掘せられし所にして其一は「アレトリア」の近くウィローズップルート鑛山にして他の一は「プロンクホースップルート」近傍の「アルフート」銀鑛なり、然れども二鑛共採掘は失敗に終り當時鐵道交通の便なかりしを以て到底生產費を償ひ得ざりしに因れり、然れども現今の如き銀需要に對しては是等休止の鑛山も亦再び採掘せらるゝに至るべし

●上海物價指數表

財政部駐滬調查貨價處の發表に係る十一月第三週（自十月至十六日）上海物價指數表に據れば本週總平均指數は前週に比し千分の四方增進し之を前月本週に比すれば千分の九を、更に九月分に比すれば千分の十（即ち百分の一）を共に昂騰したり、本週中洋厘は七錢六分一厘に高騰し之を前週に較ぶれば約一分內外の增進を示せるを以て勢ひ本表指數に影響を及ぼすに至れり（此理由は前期指數表に於て說明せり）而して一般市況に關して一言すれば本埠物價は引續き昂騰の氣勢を示し綿糸布取引の如きは異常の活動を演じ生糸市場亦活躍を呈したり、豆類は手堅く保合ひ米糧は入貨多しと雖も運出亦少かり荻皮は積出旺盛、小麥は在貨多かり價格共に昂進せり、麥粉は原料高に因つて均しく騰貴せり、炭況は唯日本塊炭三號の入貨頗る多量なりし爲め價格稍低落したる外爾余のものは何れも平穩にして變動なし、支那人取扱商の言に據れば現時既に漸く冬期に入り家庭用工場用石炭は均しく極めて浩大したるを以て當分鬆動は望み難かるべしと、茲に本週指數表を示せば左の如し

上海物價指數表（本表は九月分價格を以て一〇〇となす）

	第十四週	前週	前月本週
糧食	一〇一、九	一〇一、五	一〇一、四
其他食物	一〇一、二	一〇一、一	一〇一、二
織物及原料	一〇三、〇	一〇三、九	一〇三、九
金屬	九八、〇	九七、〇	九六、三
燃料	一〇三、七	一〇三、〇	一〇三、九

漢字新聞論調

▼蒙古問題と各報

▼時事新報（二、二一）日、韓合併は合意的にあらざれども、蒙古と支那の結合は合意的なり、而かも蒙古の取消に對して詭功なを云ふ、是れ蒙古族の人格を贓品視するものにして舊思想の發露なり、根本的に剷除すべし

▼新聞報（二、二二）日本は蒙古に乘誕する久し而かも徐樹錚は親日派なり西北を控制する權限を得たる徐とは何等の現象を釀成するや知るべからず

▼中華新報（二、二三）徐樹錚は愈々蒙古王然たり、國民以て如何と爲す、徐は武力專制を崇拜し民主政治に反對し剩つさへ外力を擴張せしむるの力なり、徐成功の成る日は即ち民國ぐつぶるの日なり國民は異常の覺悟を以て徐を拒絕せざるべからず

▼神州日報（二、二三）外蒙は徐の功と云ふも徐の爲めの功のみ、外蒙索と狡詐なれば威壓されて內向せる外蒙は孝へざるべからずよ眞の內向にして反側の患なしとするも西北方面に一大藩鎭を建立せしことは尤も考へざるべかざる點なり

▼民國日報（二、二四）外蒙自治取消後の徐樹錚は全權を握り外蒙を地盤とせり、外報が云ふが如く、小徐は日本の外蒙統治の代理人たり、前途設想に堪へざらんや

▼福州事件と各報

▼申報（二、二一）日本人は支那政府は排日貨を禁止するの能力なし故に軍艦を撤回せずと云ふが、兵力豈に貨物を排貨と關係なきに於てをや、當局は交涉につき日本艦撤退と日本人暴行とを二事として當るべし、先つ暴行を問へよ交涉に當りて戰事的派艦を懼るゝに足らんや

▼民國日報（二、二三）デーリー、ニュースは福州事件に對し支那政府の要求客れたりざるべきは此事件を國際裁判に付すべしと主張せるが記者の極めて贊同する所なり、支那の交涉失敗は北方政府が甘んじて退讓すると日本が强ち恃つて威嚇するに在り、日支の交涉は之を國際裁判に付し世界の公論に待つ外なし

▼新聞報（二、二四）福州事件は舉國憤を同ふするのゝならずや他國人も亦た異口同音支那のため不平を鳴らす、而かも責任ある李厚基は國民を視ること仇の如く身何國の人たるを知らず、問く李は恃むに奧援ありと、李は徐樹錚と私電を取交はしつゝあり、宜しく李は免職せしむべきにあらずや、李の如き對內に徵辦せず、外に媚ぶる大官な其儘にせて對外更らに何の望かある

資本金　壹千萬圓

上海英租界漢口路A第九號

日本海上保險株式會社

上海支店

電話中央一三五六番

HOHSIN & Co.

本店　京都

支店出張所在地

東京、大阪、天津

漢口、大連、

HH 合信洋行

江西路第五十一號A

電話　中央四八七九

株式會社湯淺七左衛門商店

上海出張所

營業科目

大小五金機械器具

紡織船舶用品一切

染料洋紙織物雜貨

積立金　四六五萬餘圓

金融市況

自十一月廿八日至十二月四日 上海の金融及外國爲替

●金融　前報せる弗銀補充案に對しては北京政府も同意を表し即時各造幣廠に訓達を發するに至りし結果依然内地向銀流出に係らず弗銀相場大に緩和するに至れり銀移動左の如し

輸入
八十萬弗　南京より
二萬五千弗　蕪錫より
八萬弗　寧波より
二十萬弗　漢口より
三十萬弗　蘇州より
四十三萬兩　銀塊　英國より
十萬兩　同　米國より
七十七萬磅　金貨　露國より
南京へ
輸出
百二十萬兩　漢口へ
六十萬兩　天津へ
百五十萬兩　通州へ
十萬弗　杭州へ
十萬弗　山東へ
二十五萬弗

●爲替　前週末氣配平靜に向ひたると銀塊多少の下落と相俟ちて幾分の弱氣を現出したれども依然銀行間取引多く漸次相場を昂上せしめ再び實需要影を潜むるに至れり

米國政府所有弗銀の内約七千萬オンスの銀賣却の件は十一月二十五六日頃公表せられたるものゝ如くなが爲め一時米國に於ては59.137倫敦に於ては76片を唱へたる銀塊相場は米國に於ては弗銀鑄潰點1.29倫敦に於ては225迄低落せり、支那各銀行は巨額の弗銀買入れたるものゝ如くに上海向け積出のものもありと稱せらる右以外詳細の報道を缺くも蓋し米國政府は59.129に幾分の直段を加へたるものにて賣却しつゝある模様なれば其内には一層明確なる報道を得る事なるべし

月日	銀塊相場	倫敦向電信	日本向電信
十一月廿八日	74	7/4	33⅜
同　廿九日	72⅝	〃	〃
十二月　一日	〃	〃	〃
同　二日	73⅛	〃	〃
同　三日	73⅜	〃	〃
同　四日	74⅜	〃	〃

●外國銀行「現銀」現在高

十一月廿七日(木)　十二月四日(木)

銀錠	十七、三一〇、〇〇〇兩	十六、三九〇、〇〇〇兩
墨銀	一〇、一〇〇、〇〇〇弗	一〇、八七〇、〇〇〇弗
銀塊	三、六四三、〇〇〇兩	一、四五一、〇〇〇兩

●上海各銀行在銀高(十一月廿七日)

	參加利	匯豐	正金	道勝	通商	東方	花旗	華比	和闐	中法	住友	中國	臺灣	各莊	交通	滙利	三井	三菱	朝鮮	比列賓	有華	友業	滙興	合計
雨	一、一一〇、〇〇〇	二、六五〇、〇〇〇	一、八四〇、〇〇〇	一、二一〇、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇	一、八〇〇、〇〇〇	五九〇、〇〇〇	九〇〇、〇〇〇	一、四〇〇、〇〇〇	九〇〇、〇〇〇	四〇〇、〇〇〇	一、三〇〇、〇〇〇	二、四〇〇、〇〇〇	一、九〇〇、〇〇〇	二、五〇〇、〇〇〇	一、二〇〇、〇〇〇	一、二〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	四〇〇、〇〇〇	七〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇	一、七四〇、〇〇〇
弗	八〇〇、〇〇〇	二、六九〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	六〇〇、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇	五九〇、〇〇〇	一、八〇〇、〇〇〇	五九〇、〇〇〇	四〇〇、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一、三〇〇、〇〇〇	一、三〇〇、〇〇〇	一、二〇〇、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	四〇〇、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇	一、七九〇、〇〇〇
銀錠塊	二、六九〇	二、六〇八	八六〇	三、九〇〇	五五〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	三、九八一

●上海取引所相場(十二月六日土曜日前場大引)

綿糸の部

	限月	銘柄	通州	梱花
十一月	一月	二月	三月	四月
	三二・二〇	三三・二〇	三三・二〇	三三・二〇
十二月	一月	二月	三月	四月
	三四・二〇	三三・二〇	三三・二〇	三三・二〇
水月	六手(組合)			
十二月	一月	二月	三月	四月
	三三・二〇	三三・二〇	三三・二〇	三三・二〇
十二月	一月	二月	三月	四月
	三四・二〇	三三・二〇	三三・二〇	三三・二〇
中國	梱綿			
十二月	一月	二月	三月	四月
	三二・二〇	三三・二〇	三三・二〇	三三・二〇

株式の部

銘柄	限月	甲號五分利公債	日華紡織	上海取引所	楊樹浦紗廠
十二月	一月	二月			
	三六・二〇	三九・二〇			
	三五・二〇	三六・二〇	—		
	三七・二〇	三六・二〇			
	三七・二〇	三七・二〇			
	三七・二〇	三七・二〇			

●上海取引所出來高

(自十一月廿九日土曜至十二月五日金曜五日間)

日本綿糸	三八、八二〇	梱
支那綿糸	一二〇、〇〇〇	梱
甲號五分利公債	二六一、六〇〇	株
同上直取引	三八、八二〇	担
株式		
棉花		

文路壹號
山口商店
電話北四五九

公人私人

▼田邊輝雄氏　十一月十三漢口へ
▼四山榮久氏　十一月二十九日回滬
▼大倉喜八郎氏　十二月二日來滬
▼鳶兵太郎氏　三日回滬
▼平野健氏　同上
▼宮阪九郎氏　三日來滬

前週中郵便局圓銀相場表

(金壹圓に付)

月日	墨銀	四銀
十二月三十日(日)	四二、一五	四七、二〇
十二月一日(月)	〃	〃
二日(火)	四二、七五	〃
三日(水)	四一、六五	〃
四日(木)	四一、二五	〃
五日(金)	〃	〃
六日(土)	四二、一五	〃

編輯餘錄

▼男女七歳、席を同ふせずとは古來支那の金言があつた、所が世は刈孤に亂れて非孝論か提唱せられる現代の支那に至りては男女の區別し父子の大道も全く煙滅した

▼山東問題……福州事件……の好個の籠口物に狂映する上海の學生は如何

▼即ち其勤路の上海學生聯合會の事務所の内幕を天下に紹介せんか、口や筆にこそ愛國を氣取つてるが、實は男女混合で自然主義の實行より外には全く何物も零だ

▼救國だ愛國だと叫ぶが、此の自然主義に耽弱してるから學校も嫌になりヨイ〳〵傳單でも配布してるに過ぎない、病、漫性になれり須らく一大手術を要すべしではないか、嗚！何者ぞ、天下人士の嘲ぜざる彼等の愚態を目して醒めたりと迷ふ者は

▼然るに淞滬警察廳長徐國樑なんと申し待んべる、生氣地なる色男は、學生の愚動を取締るべき天職に在りながら、部下に「其所爲に任ぜよ」と令せずとか

▼上に威信、紙より、うすき政府ある今日には徐の生氣地なきを罵るのは酷に過ぐとして、支那を憐れの余り一言す、曰く學生を逮捕せよ然らば支那幸甚、支那人幸甚

▼此點に於て山東の馬瓦、天津の楊以德、廣東の魏邦平、は晉給一等大綬寶光嘉禾章にして、福建の李厚基に至りては罪一等を減ずべしだ

▼支那には過激派の宣傳行はんとしてる、各省長官は嚴重に取締れとは支那政府再三の訓令によりて窺れるが

▼鹿を指して馬と爲す底の訓令にあらずして何ぞ、眞に過激派を恐れるなら宜しく學生を坑にすべしだ

▼歴々云つた話ではあるが、學生の愚動一回惹起さるれば一回、秦の始皇の英斷を憶ふ

▼北方總代表王揖唐依然として動かず、知らず這裏朝三暮四何事を打する？

▼畿逝かんとすれば矣王先生に一句を呈せんか曰く　本堂の建立ならず畿の暮　はドーザ

ノルウ井チ ユニオン 火災保險會社
千代田生命保險相互會社
日本徴兵保險株式會社
東洋海上保險株式會社
代理店
大倉洋行
電話 二八〇 二八六六

BURIN & Co.
武林洋行
電話中央 一三五七 四二四六
營業種目
綿花　絹紡　原料　雜穀　肥料
油蠟　毛皮革等
上海漢口路九號
本店　大阪
支店及出張所
漢口　沙市　宜昌　萬縣　重慶
神戸　横濱　東京

TSUCHIHASHI & Co.
輸出入貨物通關業
合名會社 土橋通關所
上海靖遠街一五號
電話北二五六九
合名會社 土橋號
上海吳淞路一五一號
電話北一三二八
酒類、醬油卸商
キリンビール
菊正宗
三ツ矢サイダー
亀甲萬醬油
味淋九重櫻
輸入發賣元

K.D.K.
川北電氣公司
營業種目
電發機、エンジン、モータ、電線、ランプ、電話機、變壓機、各種風扇機、積算電力計、電燈材料、一切工事請負及企業、其他電氣、電話ニ關スル一切ノ事業
上海四川路百十二號
電話北 二九六二 二八二一
陳列所 四川路一三四 一三五
電話中 二三五八
工場 東鴨綠路
電話北 二三五七
本社大阪 堂島濱通 一丁目
株式會社 川北電氣企業社

歐亞聯絡最捷交通線

◎急行列車ハ最新式ノ一、二等寢臺車及食堂車ヲ聯結致居候

下

○大連長春間急行
大連發（日、水曜日午後三時二十分　莫斯科行　木曜日　午後三時二十分　聖彼得堡行）
長春着、月、木、金曜日午後七時十分

○滿鮮直通（釜山間　長春間）急行列車
釜山發　土、火、水曜日午後九時五分
安東發　日、水、木曜日午後四時四十分
長春着　月、木、金曜日午後七時十分

上

○長春大連間急行列車
長春發月、木、金曜日午後五時四十五分
大連着　火、金、土曜日午前九時

○滿鮮直通（長春間　釜山間）急行列車
長春發月、木、金曜日午後五時四十五分
奉天發火、金、土曜日午前一時三十五分
安東發水、土、日曜日午前六時十分

注意
（歐洲時局ノ爲メ當分ノ內
●印ヲ付シタル日ノミ運轉ス

◎大連發　急行列車ハ上海着ノ各航路汽船ニ接續致候

歐亞聯連行程

哈爾賓迄	二十四時間
莫斯科迄	十日間
聖彼得堡迄	十日間
伯林迄	十一日間
巴里迄	十二日間
倫敦迄	十二日半

鐵道旅館

ヤマトホテル

大連、旅順、奉天、長春ニアリ
設備完全　食物精選
大連市外星ケ浦ニハ海岸ほてるアリ

電報略號（YAMATO）

大連上海航路

速力

使用船（神戸丸　九三八七六噸　神戸丸　九二八七七噸）
兩船共船內無線電信局アリ
大連發火、金曜日正午　上海着木、月曜日午前（金曜日大連發ノ分　土曜日青島寄港）
上海發火、金曜日午前　大連着木、月曜日午前（金曜日上海發ノ分　日曜日青島寄港）
上海大連共ニ棧橋繫留
神戸丸　九九海里航海時間三十一時間
神戸丸　十四海里航海時間四十一時間

電報署號（AMNSEN）

南滿洲鐵道株式會社

○本社　大連市公園町　○支社　東京市麹町區有樂町
振替貯金（大連二一九番）電報略號（MANTETSU）

營業科目
化學用玻璃器、醫藥用瓶其他、玻璃料器一切製造販賣其他一般輸出入業

上海廣東路三十六號
T
北福洋行
電話三八九二番

輸出入商
JO
大澤洋行
上海廣東路拾號

營業科目
海運業
船舶代理
并賣買仲立
一般輸出入
上海江西路五號
申
合資會社　申亨洋行
電話中三〇〇九

煙草値下
●敷島　蓉　美　四百本　二十本　壹弗八拾仙　拾仙
●大和　武藏　野　四百本　二十本　壹弗拾五仙　八拾仙
●霞　四百本　二十本　小洋壹仙弗
●オーナー　一百本　十本　七拾五仙　銅
●アイリス　五十本　二十本　參拾四仙
●スピーア　五百本　十五本　壹弗八拾五仙　五拾仙
●フォンリー　五百本　十本　壹弗五拾五仙　四仙五厘
東亞煙公司
電話北一〇五二番

本紙定價（前金）
一部　銀十五仙　支那金二十五錢
一ヶ月（四部）銀六十仙　同壹圓
半年（廿六部）銀三弗卅仙　同四圓
一年（五十部）銀六弗（共稅郵）同六拾壹圓（共稅郵）　日本

廣告料
本紙揭載廣告の料金は行數の多少揭載期間の長短に依り特に御相談可致候間御用の方は端書又は（電話北二八五七）にて御一報被下度候

編輯兼發行人　西本省三
電話北二八五七
上海崑山路一二號
印刷人　蘆澤多美次
電話北一三〇三
上海崑山路八號
發行所　春申社
電話北二八五七
振替口座福岡四七〇五番
支局　大阪支局
大阪市東區北濱四ノ三